

【特集1/新旧トップ座談会】

白田真人氏×作道孝行氏×浦久保康裕氏

『メッセージ』～伝えたい想～


【特集2/全印工連 CSR推進委員会】


ダイバーシティ推進委員会活動報告 2年の委員会活動を振り返って
 大印工組 CSR委員会 こんな時代だからこそ自社の意味を考える



【New Face がっちりPR!】(株)栄紙工所
 トムソン加工の未来を見据え
 自動化の設備導入と人材確保の強化を実践

【New Face がっちりPR!】なんば機械(株)
 失敗を恐れず、何事も前向きに!

ホームページ随時更新中!
 大阪府印刷工業組合
<http://osaka-pia.or.jp/>

 大阪製ブランド
 認定製品 日本精機株式会社 作
 DOKURO
 エンジンバルブシャンパングラス
 flauto(フラウト)

6
 2020

プリオ「大阪の印刷」6月号

2020年(令和2年)6月1日発行
 第66巻第6号 通巻第741号

発行所/大阪府印刷工業組合
 大阪府東区中野町4-4-2

発行人/浦久保康裕

電話06-6353-3035

定価300円(税別)

OSPグループの このような取り組みご存知ですか

私たちの様々な取り組みをご紹介します

OSPキッズガーデンこくら

OSP福岡工場に従業員専用の保育所“OSPキッズガーデンこくら”を設立しました。
 OSPグループは、女性の活躍推進や仕事と育児の両立支援に積極的に取り組んでいます。

WEB | PRODUCTS | ENVIRONMENT | **ACTIVITY** | GLOBAL



2020年4月1日
 開所!



▲屋内遊具施設



▲子供用ボルダリング施設



〒803-0802 福岡県北九州市小倉北区東港2丁目4番5号
 (OSP福岡工場 正面向かい)

OSPグループは、全従業員が働きやすい
 職場環境の提供を行ってまいります。
 大阪シーリング印刷株式会社は“大阪府男女いきいきプラス”、
 “大阪市女性活躍リーディングカンパニー”の認証を取得しています。



OSPグループの使命、それは期待を超えること。



— 国内グループ会社 —

- 株式会社OSPホールディングス
- 株式会社OSPトレーディング
- 大阪シーリング印刷株式会社
- OSPゴールドシー株式会社
- OSPアドバンス株式会社
- OSPハートフル株式会社
- OSPマシナリー株式会社

— 海外グループ会社 —

- PRIMARK AMERICA CORPORATION
- 大阪希琳閣印刷(蘇州)有限公司
- OSP LABEL (THAILAND) CO.,LTD.
- OSP CEBU CORPORATION



www.osp-group.jp

このたびは、新型コロナウイルス感染拡大により、本年2月末以降すべての行事が中止となり、ご挨拶する間もなく5月21日をもって任期限満に伴い広報委員長を退任いたしました。

若手と言われながら、広報一筋14年間ほど印刷業界の取り組みを最前線で見させていただきました。

広報活動に参加したきっかけは、組合そのものに疑問をもつていた私は何か言つてやろうという気持ちでしたが、参加するにつれて取り組んでいる方々の想いをひしひしと感じ、いつの間にか自分自身がどっぷりのめり込んでいました。

組合機関誌も8年前に『大阪の印刷』から広報誌『PRI・O』に変わり、組合員主体の広報誌に生まれ変わりました。全国のさまざまな団体の中で、これだけの内容のものをフルカラーの月刊誌で



感謝とエールを！

大阪府印刷工業組合
 前常務理事 木原 浩二

発行できていることは、誇りでもありません。

ひとえに、組合員の皆様方・広告に協賛いただいた企業の皆様方・長きにわたり校正のご支援をいただきました富士精版印刷の石川会長・校正担当の方、「知つてはりまっか大阪」を100回も連載で書き続けていただいた松村様をはじめ、ご協力いただいた多くの方々のおかげをもちまして現在の『PRI・O』が成り立っていることを心から感謝しております。本当にありがとうございます。

今後、コロナの影響で大きく時代が変わります。印刷業界は大変厳しい環境におかれています。組合員が一致団結して、この時代を乗り越えるよう頑張っていきたいと思っております。

今後の役員の方々、組合関係すべての皆様に心からのエールを！

発行できていることは、誇りでもありません。

ひとえに、組合員の皆様方・広告に協賛いただいた企業の皆様方・長きにわたり校正のご支援をいただきました富士精版印刷の石川会長・校正担当の方、「知つてはりまっか大阪」を100回も連載で書き続けていただいた松村様をはじめ、ご協力いただいた多くの方々のおかげをもちまして現在の『PRI・O』が成り立っていることを心から感謝しております。本当にありがとうございます。

今後、コロナの影響で大きく時代が変わります。印刷業界は大変厳しい環境におかれています。組合員が一致団結して、この時代を乗り越えるよう頑張っていきたいと思っております。

今後の役員の方々、組合関係すべての皆様に心からのエールを！

CONTENTS

- 2 【特集1/新旧トップ座談会】
 白田真人氏×作道孝行氏×浦久保康裕氏
 『メッセージ』～伝えたい想い～
- 11 【特集2/全印工連 CSR推進委員会】
 ・ダイバーシティ推進委員会活動報告
 「2年の委員会活動を振り返って」
 ・大印工組 CSR委員会
 「こんな時代だからこそ自社の意味を考える」
- 17 【大印工組レポート】定例理事会
- 18 【New Face がっちりPR!】(株)栄紙工所
- 19 【New Face がっちりPR!】なんば機械(株)
- 20 【技術情報】(公社)日本印刷技術協会(JAGAT)
- 21 【SEMINAR】D.D.S.S.
- 22 【DNA(大青協ネクストアドバンス)】
- 24 【PRI・O グルメレポート】
- 25 【好きこそモノの上手なれ(趣味人日記)】

記事・取材協力:(公社)日本印刷技術協会(JAGAT)
 デザイン・制作:(有)ティーズ/印刷:原多印刷(株)

今月号の表紙

大阪製ブランド<シリーズ17>
DOKURO
 エンジンバルブシャンパングラス
 flauto(フラウト)
 日本精機株式会社/大阪市 作

世界で支持されている“DOKURO”のエンジンバルブ(車の部品)をグラスの持ち手と台座部分に活用したシャンパングラス。ブラックタイプ・渦巻き研磨タイプなど、バルブデザインのバリエーションも展開。高技術による優美な輝きと洗練された存在感を放っています。グラス部分は職人が1つひとつ丁寧に作り上げた「手吹きガラス」。乾杯時に澄んだ音色が響き、乾杯のシーンを華やかに彩ってくれます。
 通販サイトURL:https://enginevalve.base.shop/items/27505031

今月号の用紙

シルバーダイヤS

(塗工紙・104.7g/m² A/Y (57.5)) (表紙・本文とも)

当社A2マツコート紙の関西以西限定銘柄です。伝統技術と長年の経験を継承し、お客様の声を取り入れながら造り上げた、西日本で最も品質に定評のあるマツコート紙です。

用紙提供:日本製紙(株)

関西営業支社 印刷用紙グループ TEL.06-6363-7184

多言語ユニバーサル情報配信ツール

MC Catalog+

エムシー カタログ プラス



多言語に対応した デジタルブックを簡単に作成 手軽に配信・快適に閲覧

あらゆる紙媒体をデジタル化し、スマートフォンやタブレット端末に手軽に配信。さまざまなシーンにおいて、時間・場所・言語にとらわれず、情報発信から閲覧環境まで、ワンストップで最適な環境を提供いたします。

快適なユーザ体験をもたらす多彩で豊富な機能を搭載

- テキストウィンドウ表示
- 自動音声合成機能
- SNS連携機能
- ログ解析機能
- 配信エリア指定
- 本文検索機能
- 高性能翻訳エンジン

【特集1／新旧トップ座談会】 白田真人氏×作道孝行氏×浦久保康裕氏

『メッセージ』～伝えたい想～ 緊急事態宣言下、オンライン形式で開催

開催:令和2年4月20日(月) 15:00～



作道孝行氏



白田真人氏



木原浩二氏



浦久保康裕氏

新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の経験を強いられる中、全日本印刷工業組合連合会(以下「全印工連」)を構成する47都道府県印刷工業組合では多くの新体制が誕生している。そこで今回、PRI:O 6月号の特別企画として「新旧トップ座談会」をオンライン形式で開催。業界団体のトップとして中小印刷業界をリードし、今年5月にその任期をまとうした全印工連前会長の白田真人氏と大阪府印刷工業組合(以下「大印工組」)前理事長の作道孝行氏に、この2期4年で「伝えたかったこと」や今後の組合運営を担う新たなリーダーたちへのメッセージを語っていただくとともに、作道氏からバトンを受け取った大印工組の新理事長・浦久保康裕氏に、組合員へ伝えておきたい今後の組合運営における新たな取り組みへの想いを語ってもらった。

【出席者】

白田 真人氏
全日本印刷工業組合連合会 前会長
株式会社アドピア 代表取締役社長

作道 孝行氏
大阪府印刷工業組合 前理事長
作道印刷株式会社 代表取締役

浦久保 康裕氏
大阪府印刷工業組合 理事長
株式会社「心社」代表取締役社長

聞き手

木原 浩二氏
大阪府印刷工業組合 広報委員会 前委員長
(キハラ工芸株式会社 代表取締役社長)

「後継者」として悪戦苦闘してきた印刷経営

木原 今回、座談会の企画段階では、白田前会長にご足労いただき、大阪で一堂に会しての開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大にともなう緊急事態宣言を受け、急遽オンライン形式での開催とさせていただきます。初の試みということもあり、ご参加の皆様にはご不便をお掛けしますが、よろしくお願ひします。

皆様は業界でも有名人ではありませんが、一企業経営者としてその経歴や実際どのような会社を運営しているかを知らない方も多いいと思います。そこでまず、印刷会社の経営者としてそれぞれ自己紹介をお願いしたいと思います。

それでは、白田様からお願いします。

白田 皆さん、こんにちは。今回はお声掛けいただきありがとうございます。それでは改めて私の話を少しさせていただきます。

(株)アドピアは、もともと祖父が

経営していた印刷設備を持つ印刷会社から父が独立する形で立ち上げた会社で、今年で34年目を迎えます。私が入社したのは創業から5年後。当時は、東京・港区のワンルームマンションに両親と私とデザイナーの4人で年商6000万円ほどのいわゆる零細企業でした。祖父の会社から

のスパインアウトだったことから手元資金にも乏しく、両親は資金繰りでよく夫婦喧嘩するわけです。そこで「なぜお金がないのか」をよくよく聞いてみると多額の借金が原因でした。当時の年商6000万円に対し、蓋を開けてみたら1億2000万円の借金があるわけです。まさに、借金のために働いているようなもの

でした。そんな状況に当時22歳だった私は、「騙された」と思いながらも「入社したからにはやるしかない」と決意し、親子で借金返済のために寝る間も借しんで死に物狂いで働きました。そして何とかその目処が立ち始めたころ、印刷組合にお声掛けいただき、東京の青年会に加入。私が28歳の

ときです。その2、3年後に、浦久保さん達と出会うことになるわけですが、全国青年印刷人協議会(以下「全青協」)の仲間との出会いは、いまでも私の大きな財産となっています。この出会いを通じて会社の経営から社員との向き合い方、仕事の作り方で様々なことを学び、また応援してもらいました。

その後、ようやく30歳代になって借金返済も進み、営業面でも数字が伸び始めたころ、また人生に大きな波が押し寄せます。私が36歳の時に父が心筋梗塞で急逝。なんの準備もないままに、父の急逝によって社長業を引き継ぐことになりました。多くの方もそうだと思いますが、社長業はやってみて初めてわかることが多々あります。まず、私の社長業としての最初の仕事は、借金の連帯保証人のハンコつきです。そんな状況でありながらも、気持ちの中でひとつの決意が生まれます。「会社の事業規模こそ小さいが、そこには何人かの社員がいてくれる。この社員たちとともに、お客様にとって絶対的に

必要な会社になる。そういう存在価値を作り上げていく」。そんなことを思いながら亡き父の後、右も左も分からない中の船出から15年。この間、いつでも私を支えてくれたのがこの組合、青年会で出会った仲間たちであり、先輩方です。温かい言葉はもちろん、ときには厳しい言葉で、ご指導もいただきました。その上に現在の「アドピア」があります。ご承知の通り、当社は創業以来、一切設備を持たず、営業と企画クリエイティブの二本柱でお客様に直接サービスを提供する企業形態です。そこでよく「白田君の会社はいいよね。ソフトサービステキだね」と勘違いされます。当社の売上構成比率の約95%が印刷加工物で、顧客接点さえしっかりと作れば、やはり収益の源泉は印刷加工物になるということ。日本の商習慣では、なかなか印刷会社や広告制作会社が企画やコンサルティングで数百、数千円の請求を立てることは難しい。結果、どこで請求を立てるべきかというところ、やはり

印刷加工物となるわけです。当社は、営業とクリエイティブを主体にクライアントと繋がり、製造加工の工程は、組合で出会った全国の仲間たちにお願ひしています。アドピアの経営は、そういう方々によって支えられています。

木原 ありがとうございます。それでは次に作道様、よろしくお願ひします。

作道 当社作道印刷(株)は昭和12年の創業、83年目を迎えた会社です。戦前から石版などを手掛け、当時からパッケージが中心だったと聞いています。私が入社したのは昭和61年、大学卒業後にそのまま当社に就職しました。当時はバブル景気に突入した頃で、その後4、5年でバブルは崩壊するわけですが、平成4年に大阪市内の谷町4丁目にあった本社工場を東大阪に移転。バブル崩壊で土地の価格が下がり始めた頃に東大阪の土地を買って、下がりきった頃に大阪市内の土地を売った形となり、結果、借金だけが残ってしまいました。

白田さん同様、当社も当時は



白田 真人氏

借金だらけで、当時の年商12億円に対して18億円の借金があり、その返済も元金を返さず金利分だけを返済するという状況でした。

そんな中、父が平成13年に亡くなり、私が38歳で社長に就任。同時に連帯保証人として18億円の個人保証を課されたのです。実際、返済できる額ではないのですが、会社が倒産すれば即自己破産という状況でした。そんな中で、「とにかく利益を上げるしかない」という想いで、会社の改革と売上を伸ばすことを並行して進めました。そこで気付いたのは、金利で年商の3%程度を持つていられるということは、他社より3%の付加価値が必要

に伝えられたこと、またその想いを改めて総括していただいたと思います。まず、白田様からお願いします。
白田 私が全印工連の会長に就任してから4年、こうして全印工連事業が滞りなく運営できたのは、全国の組合員の皆様のご理解、各事業に対するご参加の賜だと思っています。とくに大印工組の作道さんにおかれましては地元の理事長のみならず、全印工連の副会長として、私が進めたかった様々な事業に実行力と幅を持たせてくれた立役者です。この場をもって作道さんのリーダーシップに改めて感謝申し上げます。そして、大印工組の組合員の皆様にも心からお礼申



作道 孝行氏

とに「共済」です。4302事業社に4302名の社長、そしてそこに勤める方々など、我々に関する就労者数を合わせると、日本全国の製造業の中分類において、「印刷」はほとんどの都道府県で3位までに入る非常に大きな産業です。この力をもつて共同購入、共同調整といったものが可能になります。生命共済や火災共済のほか、さらに昨年大きな改定を実施したアドビの全印工連特別ライセンスプログラムは、世界最大のアカウント数を保有する大きなライセンスです。アドビ社において「ライセンス」す約6000アカウントを有するユーザー契約は世界的にみても全印工連しかなく、ゆえに特別な使用条件に基づく料金設定が現実化したわけです。

ほかにクラウドバックアップサービスなど、組織の力をもってしてサービスを低価格で享受できる環境は、まさに全印工連の組合員が得られるメリットです。今後も引き続き推進していただきたいと考えます。

そして、何よりも私自身が大事だと思うのが「対外窓口」としての機能です。国、経済産業省、中小企業庁に対して全国の組合

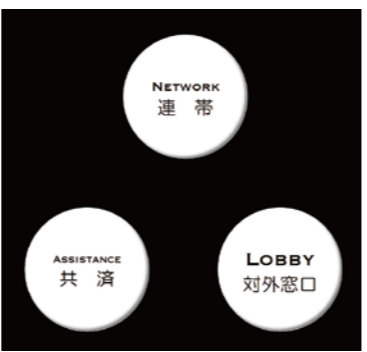
います。その後、2004年に初開催された業界団体の垣根を超えた横断的イベント「PRI NT4」で、全青協の浦久保さんや日本グラフィックサービス工業会青年部SPACE21の東條秀樹さん(大印工組副理事長)といった当時のトップの方々を知り合い、そのユニットがまだに続いている感じで、理事長時代は非常に心強い存在でした。

いま、2期4年の任期を終え、正直ホッとしているところですが、そうは言っていられない状況でもあり、今後も微力ながら業界に貢献できればと考えています。

木原 ありがとうございます。続いて浦久保様お願いします。浦久保 いまお二人の話聞いて、白田さんと作道さんが同じような境遇だったということに改めて驚かされました。それでは引き続き、私のことについて少しお話しさせていただきます。

私が入社したのは平成4年。連する就労者数を合わせると、日本全国の製造業の中分類において、「印刷」はほとんどの都道府県で3位までに入る非常に大きな産業です。この力をもつて共同購入、共同調整といったものが可能になります。生命共済や火災共済のほか、さらに昨年大きな改定を実施したアドビの全印工連特別ライセンスプログラムは、世界最大のアカウント数を保有する大きなライセンスです。アドビ社において「ライセンス」す約6000アカウントを有するユーザー契約は世界的にみても全印工連しかなく、ゆえに特別な使用条件に基づく料金設定が現実化したわけです。

「陳情」というレベルではなく、我々のノウハウやネットワークによつて如何に地域行政・産業に貢献できるかという提案型の政策提言が可能になっています。このような対外窓口は、より一層組合の価値を高めるだけではなく、実際に組合員皆様一社一社の経営基盤のサポートになっていくのではないかと思います。



この3つの機能「連帯」「共済」「対外窓口」が印刷組合の存在価値であり、要件ポイントだと思っています。これは、我々世代の執行部が定義したものではありません。あくまで全印工連47都道府県工組における組合そのものの機能を改めて明文化したものです。これがこの4年間を通じて言葉にしてお伝えしたかったことです。

木原 ありがとうございます。それでは作道様から大阪での活動を中心にお願いします。作道 私が理事長に就任したのは2016年。まず、当時の役員で「存在価値を高めるための変化を支援する」というスローガンを定めました。組合員の存在価値を高めていくためには「変化」が必要です。それを側面支援す

バブル崩壊によりサラリーマンとしての勤めていた会社が倒産したのがきっかけです。もともと父親の会社に戻るつもりはなかったのですが、生計を立てていかないと入社しました。印刷については、まったく知識がなかったわけではありませんが、「」からのスタートでした。当社は、創業当時は活版印刷で、事務用帳票を主体とした商品が中心でした。その後、活版から写植、オフセット印刷へと移行しました。入社後はIT化の流れが一気に進む中、当社でも写植からDTPの環境に移行し、グラフィックデザイナーの採用、印刷物も帳票中心から販売促進物の印刷やWebサイトの作成やイベント企画・実施など営業品目も多岐になり、オンデマンド印刷にも対応した設備投資も行ってきました。当社が請負業でありながら安定的な事業経営ができてきたのは事務用帳票を中心にした非常に随意性が高い商品が中心であったためですが、リーマンショック以降、当社の主力商品の事務用帳

票が激減し、それに代わる商品の開発や取引先の拡大に大変苦労しました。この時にもサラリーマン時代の経験や異業種の人脈が活かされたと思います。私が印刷業界活動とのご縁ができたのが入社当時、社長の義兄から「業界で同世代の友達を作ってみては」と言われ、大印工組主親支部の青年部に入会したのが始まりです。その後、大阪青年印刷人協議会で議長、全国の副議長、議長を仰せつかり、全国に顔を出す機会も増え、そこで白田さんはじめ、いまでは業界団体のトップをつとめる方々とのご縁ができました。同年代で非常にエキセントリックな方も多く、そのご縁を通じて印刷業の面白さや奥深さを学んだ気がします。

組合は「弱者の代弁者」ではないということ

木原 白田様と作道様のお二人はこの4年間、全印工連の会長・副会長という立場で組合改革に取り組んでこられたわけですが、その中で、組合員の皆様に本当



浦久保 康裕氏

るのが組合の役割であると定義したわけです。

実際、ここ数年はどんどん経

済環境も変化し、印刷業界は取

り巻く環境も激変しています。「今までの繰り返し」だけでは企業成長はありません。常に時代に合わせて柔軟に変化しなければ生き残ってはいけません。その中で組合がどういう役割を担うのかを改めて考えた結果、「変化を支援する」ということになりました。

一方で、先ほど白田さんの話にもあったように、「対外窓口」として業界のメリットを如何に保持するかも重要であると考えます。実際、誰もが「印刷業界の地位を上げたい」と考えますが、そこ

で組合団体がなければ、やはり我々は不利益な状況に置かれる可能性が高まってくるでしょう。

組合の存在価値について組合員側の立場で物事を考えようと、結局自らにメリットがあるかないか。費用対効果が良好ならば心地良いし、そうでなければ退会してしまおう。そこで重要なのは、組合員の意識を如何に変えられるかだと思います。組合に所属すれば「仕事が上から降ってくる」的な感覚でおられる方も中にはいるでしょう。決してそんなことはありません。自らが積極的に有益な情報を取りにいき、その情報を元に自らが汗をかいて一生懸命に試行錯誤すること

で初めて結果に繋がるわけです。なことにチャレンジした結果、悪い部分も見えたとし、改善できた部分もあります。そこで私自身が感じたのは、委員会同士の横の連携が良くなったことです。これまでは独立的で、他の委員会が何をしているのか知らない中で運営されてい

各工組に持ち帰って何をしてほしいのか、そんなことを地区協レ

ベルで整理して伝えていくべきだと考えます。この部分については、全印工連で地区協の役割を見直すなど、様々な改革を実施していただき、徐々に変わってきています。以前と比べると情報伝達は活性化されています。ある意味、風通しはよくなっているのではないのでしょうか。

一方、私が理事長になってから大阪で始めた事業に「組合員例会」があります。これは組合と組合員の接点強化が目的で、組合からの情報発信に加え、組合員同士の交流も目的に始めた事業です。そのための専任委員会も設置し、試行錯誤しながら様々

互いに助け合うような関係性もも割と明確になったと思います。組合のひとつの方向性に対し、各

同時に各委員会のミッションも割と明確になったと思います。組合のひとつの方向性に対し、各

同時に各委員会のミッションも割と明確になったと思います。組合のひとつの方向性に対し、各

「最終的には自助努力が必須になる」という意識付けに注力してきた4年間だったように思っています。

「組合のメリット」を私なりに整理すると、参加すればするほどわかるメリットと、利用すればすぐわかる直接的なメリットの2つに分けられます。前者は「情報」もそうですが、いわゆる「刺激」だと思えます。様々な方との接点から受ける刺激がモチベーション維持に繋がっていくというメリットがあります。後者のメリットは、共済制度や優待制度、認定制度などにあたりります。ただ、これらメリットを参加頻度の低い組合員には明確に伝え切れなかつたのではないかと考えました。

そこで、取り組んだのが「メリットの見える化」です。メリットを数値化するという試みは大阪独自ではじめてものですが、その後、全印工連でも採用いただき、全国展開することになりました。

利用すればわかる直接的なメリットを数値化し、「これだけ得た。」「束ねやすくなりました。」「業界が良くなるためには1社1社が良くなる必要性があるわけ、そこで組合団体がいない状態で個々が努力するよりも、団体の中で切磋琢磨する方が効率的です。ただ、言い換えれば、組合運営次第で良くも悪くもなるということ。組合自体が、メリットをどんどん見出せる団体になれば、当然必要性が高まり、組合員も増加するでしょう。

あと、組合員の方々にお願いしたいのは、自社の存在価値を明確に自覚してほしいということ。自分たちは何で飯を食っているのかを理解し、明確にしてほしいのです。次に、その価値をどうすれば高められるのか、高めるためにはどう変わらなければいけないのかを意識し、そこで出た結論を実践し続けてほしいと思っています。そこで問題にぶち当たれば、組合に持ち寄っていただき、一緒に問題解決していく。そんな活用ができれば、うまく廻っていくのではないのでしょうか。

いろいろな言いしましたが、これら

「しますよ」と伝えることで、入会を決めた会社、退会を思いとどまった会社があります。とにかく組合の「入り口」をできるだけわかりやすくすることで効果が生まれたのだと思います。入会さえしてもらえれば、本当の意味での組合の価値に気付いてもらえ、価値向上に繋がっていくと考えたわけです。

しかし、同時にそれを伝える手段として、従来の情報伝達ルートだけでは不十分だと考えました。従来、全印工連↓地区協↓各都道府県工組↓支部↓組合員という一般的な情報伝達ルートがあります。この部分でネックになるのが情報伝達の経由回数が多すぎることで、情報が減衰していくことです。情報の受け手側は、興味がない情報についてはスルーしてしまう傾向にあります。興味のある情報ならば、人は次の誰かに伝えようとしていますが、興味がない情報については、それほど熱のこもった伝え方はしません。そこで情報が細り、最後まで伝わらないということになります。

は組合員自身が変革意識を持たなければ実現できません。そこがまずポイントになります。最終的には、組合活動に積極的に参加するメンバーをどれだけ集めてくれるかということにかかってくるかもしれません。それができれば組合も成長するし、業界も良くなるでしょう。

木原 私も大印工組の役員を仰せつかり、この期に関しては、広報委員長と支部長を兼任させていただいています。作道様とも支部が同じなので様々な部分で情報共有させていただきましたが、そこで常々感じるのが、組合員との温度差です。私も広報委員会、皆様に組合活動を如何に伝えることができるかを考えてきました。やはり問題は、組合の考えと、組合員が組合に求めている部分に差が生じていることのように思います。

一方で、同じ支部員同士でも、各社がどのような会社で、どのような事業を行っているかを知らないケースが多々あります。そこで各会社に自社をプレゼンしてもらおう機会を設けると、自社を

また、この情報伝達ルートが一方通行であることも問題です。こちらから情報を流しても、それに対するリアクションが見えないからです。

いずれにせよ、現在の情報伝達ルートだけではカバーしきれないことは明らかです。今回の座談会のような遠隔でのオンライン形式もそうですが、Webやメールといった電子媒体をうまく並行使用しながら、情報が細らな、かつインタラクティブな情報伝達の接点を作っていくことにも注力していく必要があると考えます。

さらに、キーマンそれぞれの役割分担を明確にする必要があります。全印工連の各委員会の委員長や地区協の委員長が、それぞれの情報伝達の役割についてどこまで自覚されているのかどうか。あと全印工連からの伝え方という問題についても改革途中だと思えますが、これまでは委員会が何を伝えたいのかが明確に打ち出されておらず、地区協に何をしてほしいのか、何を議論してほしいのか、何を伝えたいのか、

見直すきっかけにもなり、胸襟を開いて仕事の話ができる関係性が生まれます。組合執行部で話し合っている内容はハードルが高いという声もあります。そこを末端の組合員に分かりやすく、明確に伝えることが重要だと思います。

白田 とくに地域特性のある支部や班のリーダーには、木原さんと同じような考えをお持ちの方があります。どのような形で如何に情報を皆様に分かりやすく伝えていくのかということ。もちろん、これは組合側で議論し、取り組む必要がありますが、一方で、どれだけ分かりやすく情報を加工しても意識の低い方はその情報を取りにきません。仮にセミナーなどの参加費を無料にしても興味を持たれない人は参加しません。これは作道さんともいろいろ協議し、情報伝達が停滞しないように各都道府県工組を迂回することなく、組合員へ直接メールですべての情報を提供するなど、様々な挑戦を実施してきました。これはひとつの解決策ではあるものの、やはり経営者



木原 浩二氏

側、情報の受け取り側の意識の変化が必要なのです。そこで全印工連では、情報提供をブッシュ型からプル型に変えました。企業経営するために必要な情報はすべての方に一度は発信し、その

先の情報がさらに必要であれば、皆様から取りに来ていただくという方向に少しずつ舵を切ってきました。

昨年大阪で開催した全印工連フォーラムで、私は印刷組合の運営において非常にエポックな

言葉を増上から発信させていたいただきました。手元のタブレットで「DX」という文字を提示した上で、会場にいたおよそ300名に「DX」の意味が分からない方がいたら、ご自身で調べてください。ネットで検索すれば出てきますから」と。長い組合運営で違和感を感じたのは、理解できていない人の方が、声大きいことです。「理解できなければまずは調べようよ」ということ。組合と

いうのは理事長や会長や副会長が偉いわけではありません。先ほど木原さんが「末端の組合員」と表現されましたが、そうでは

なく全員が「仲間」なのです。その仲間たちの中でもう少し考えなければいけないのが、「経営者同士の相互研鑽」という関係性です。

今後、各都道府県工組の理事長が「頼まれてもいない弱者の代弁者」になってほしくないのです。

「英語やカタカナが多くてわかんないよ」という業界では、この時代、この環境において前途多難であると思います。

組合のリーダーは丁寧に伝える努力が必要です。しかし一方で、組合は経済活動家の集まりであるということも皆が認識し、高め合う努力は必要だと思えますが、作道さんはどう思われますか？

作道 本音の部分はそういうことだと思えます。要は本人にやる気があるかないかにかかってくるわけです。やる気のある方は、少しのヒントで前進しますが、やる気のない方は「上げ膳据え膳」状態が必要となります。やはり組合のスタンスとしては、「二通り」のことはやりました。あとは皆さん次第です」ということになるで

選出しました。いわゆる組合員の立場から事務局を運営し、組合員へのサポートを行う環境を作ったということです。その下に総務特別委員会を設置し、そこに過去の事業の資料等をすぐに共有できる「インデックス」機能

を持たせ、過去にどのような事業を実施し、どのような効果があったのかなどをすぐに引き出せるような環境を整備していきます。さらに、これまで事務局に「おんぶにだっこ」になっていた部分を、もう少し我々側でやれる余地を増やしながら、本来事務局が担うべき仕事を精査したいと考えています。

交流委員会も設けました。これは作道さんが理事長時代に新たに作り組んだ組合員例会と組合員の交流サービスを融合させたようなイメージの委員会です。先ほど「伝わらないジレンマ」の話がありましたが、私は伝えていくためのヒエラルキーが大事だと考えています。組合員に伝えるということとは、イコール経営者に伝えるということ。その間で情報が停滞してしまっているのが問

しょう。

白田 そういう組合のメリットを数値的な利益に置き換え、印刷組合のメリットを見える化した大阪の取り組みは素晴らしいと思います。ただ、本当の組合のメリットというのは、作道さんが

言ったように、やはり長い付き合いの中で醸成される人と人との関係性、その結果としての自身の成長だと思うのです。現在、組合にあまり参加されていない方、もしくは入会間もない方はその期間を経ていないので、目に見えるメリットを分かりやすく示す

ことは非常に大事だったと思います。全印工連では、この作道さんの取り組み、仕組みを47都道府県で共有させていただきまし

た。
作道 これがすべてではありませんが、入り口戦略としては良かったと思っています。やはり、メリットを「見える化」することで多くの方が聞き耳を立てます。そこから参加を促し、そこから本当の組合の良さを分かってもらうという流れができればと考えます。

今回、新しく特別委員会として涉外特別委員会を設置され、ロビー活動に資する政策プロセスにしっかりと対処していきたいということですが、その中で、経済産業省の近畿経済産業局という話が出ましたが、ご存知の通り、経済産業省の地方局というのは、それぞれ地方局ごとのメニューの準備がありません。基本的に本省から発信されたものを施行している組織なので、大印工組に関しては、中小印刷産業振

興議員連盟を通じて、経済産業省、もしくは中小企業庁の方に政策提言をお願いします。あわせて、大阪府、大阪市の行政に影響力を持たせるためには、全印政連とは別に、大阪府の印刷産業政治連盟が機能します。

なぜこのような話をするかというと、全印政連の応援団である自由民主党は政権与党であるのに対し、東京都の小池百合子都知事は都民ファーストの会で政権与党ではありません。政権与党である自由民主党の都議連の方々は、東京都の政治連盟が機能しています。あくまでも東京

涉外特別委員会の新設で、 対外窓口機能強化へ

木原 さて、ここからは作道氏から大印工組の理事長を引き継いだ浦久保様をお願いしたいと思います。新型コロナウィルス感染症拡大という荒波の中での船出となりましたが、組合員へ伝えておきたい今後の組合運営における新たな取り組みへの想いをお願いします。

浦久保 新米理事長の船出としては、当初、考えていた予算通りに事業を実施できるのかも含め、かなり厳しい状況にあります。これは大阪だけでなく、全国でも同じような悩みを抱えておられるでしょう。

これまでのお二人の話を聞かせていただいた上で、私の組合運営に対する想いをお話しします。大印工組では今年度、新たに3委員会の設置、1つの委員会への事業統合を行いました。ひとつは、CSRにしっかりと取り組むべく、CSR委員会をマーケティングという括りの中で位置付けしようと思えます。

都印刷工業組合(以下「東印工組」)は、東京都との連携であるため、結果として都民ファーストの会代表である小池都知事との関係にあります。これらを明確に分けて活動しているわけです。

東印工組の話ですが、最低制限価格制度などについては自由民主党の都議連の方々のご尽力で、東京都のなかで最低制限価格制度を実行に移していただいています。一方で、小池都知事になつてからは必ず年度予算を組む前に招かれ、印刷業界からの様々な要望を提示させていただき、その中で業界団体に対する直接的な助成をお願いしています。一昨年度は1億円、昨年は5000万円の助成金を東京都から支給してもらっています。

しっかりとした政策提言をもつて地方行政区や経済産業省、中小企業庁に対して、しかるべき団体が、しかるべきプロセスを経て活動していくことによる効果は必ずあります。大阪においても国と地方行政、府、市を組織的に分けて活動していくことが重要になってきます。

もうひとつは涉外特別委員会

です。これまで大印工組は、対外発信というところにあまりウエイトを置かず、弱かった部分があります。そこで涉外特別委員会を設け、ここで行政において政策立案しているような方々にも委員会活動に参加していただき、政策プロセスがどういうものなのかを勉強しながら、我々のステークホルダーである大阪府、大阪市や経済産業省の出先機関である近畿経済産業局などに対しても働きかけを行っていきたく考えています。

現在は何か言うところのづくり補助金を利用して」という話になり、「ハードな設備を入れなさい」的なことに印刷業に対する評価のすべてが集約されているような気がしています。しかし、我々の中には既にソリューションプロバイダーとして多岐にわたるサービスで活躍している会社がたくさんあるわけです。そういう方たちの実態をしっかりと伝えていくために、涉外特別委員会を設けました。

また、専務理事を組合員から

自助努力、共助、公助

木原 それでは最後に、それぞれの立場から印刷業界へのメッセージをお願いします。

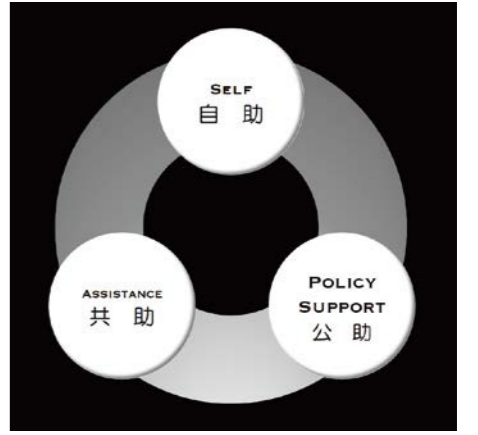
白田 印刷業界へのメッセージとなるとおこがましいので、私からは、今後組合運営を担う各都道府県の理事長や全印工連の委員会の方々、つまりこれから組合の推進力として活躍される方々に対してのメッセージとさせていただきます。

まず、組合員の方々に対する距離感の問題があります。リーダーになられてすぐは、組合員の方々と自分との距離感について、どこまで自分のメッセージ性を主張していいのかわからない部分があるでしょう。

とくに今回は、新型コロナウィルスという大きな問題があります。全印工連が実施した3月末時点での影響に関するアンケートでは、すでに2割の売上減、4～5月については3割減、さらにイベント関係に直結している会社では、半分ぐらいまで落ち込むなど、かなり深刻な状況が見込

ダイバーシティ推進委員会 活動報告

2年の委員会活動を振り返って



まれています。

このように新型コロナウイルス感染の終息が見えない中で、我々の暮らしだけでなく、仕事の

仕方も、もつと言えれば事業のあり方が大きく変わる可能性があります。これは非常に大きな問題です。こういった中で、船出は非常に大変だと思えますが、逆に新たな変革のきっかけを自ら創っていただくようなリーダーシップを発揮していただきたいのです。

繰り返しになりますが、組合員は経済活動家、事業経営者であり、最も大事なのは自助努力であるということ。自分が努力するほかにはありません。2012〜2015年までの島村体制では、

全印工連のスローガンとして「やる気のある会社のために役立つ全印工連」という明確なメッセージを発信していました。私もまったくその通りだと思えます。

次に重要になるのが、アシスタントメニューです。地域ごとにそれぞれ努力されている組合員に対し、どういった側面支援ができるのかを徹底的に議論していただき、具体策を提示してほしいと思います。

そして次に「公助」です。「公助」とは、国や地域行政からの支援を取り付けるということです。また支援のみならず、しっかりと政策プロセスと組織力をもち、条例や法律などに対応し、経営基盤を作っていくことが私は重要だと考えます。自助努力を印刷組合が側面からサポートし、支援しながら、かつ1社では成し遂げられないことに対して、対外窓口としての機能を発揮する。こういった自助努力、共助、公助のサイクルを回しながら、リーダーシップを力強く発揮し

てほしいと願っています。期待しています。

作道 白田さんと同じく、私も組合の機能は、自助努力、共助、公助になると考えます。すべての組合を取り巻くステークホルダーの共存共栄みたいなところを目指すべきでしょう。具体的に、如何にして実現していくのかというところを長期・短期の目標として落とし込んでいくことが組合の仕事なのかもしれません。

大事なものは具体的な目標設定です。例えば、業界発展に向けて何かをするとなったときに、漠然と業界発展と言っているのも何かわかりません。業界発展したか否かを如何に量るのか、発展の定義をどうするのかということを引きつり落とし込む必要が出てくるわけです。その上で、共有していくことが重要になります。「発展」という旗印に対し、1ヵ月後、半年後、ある意味マイルストーンを設定しながらゴールを定めることで、何も決めずにするときと比べると、最終的な成果に大きな差が出てくるでしょう。

しかし、理想通りにはいかないかもしれません。計画と現実、そのズレが出てくるわけですが、それを具体的な数値で捉えることも重要です。「目標1現実2問題3」になります。そういう捉え方の上で問題を共有していくことが大事で、それが具体化してくると、PDCAを回しやすくなるはず。

目標設定するときに陥りがちなのが、どうしても自分の利益に走ってしまうことです。とくに今のようない状況下では利己的になりがちです。本来、公共団体として目的は利他的であるべきです。周りのために働くからこそ、最終的に自分に利益が残る。ある意味「三方よし」的な意識がますます大切になります。広い視座をもって企業経営、あるいは組合運営にあたってほしいと思います。

浦久保 4年の間、リーダーをまとめていた方たちの言葉は、やはり説得力があるし、重みもあります。やった者にしか分からない苦労や達成感があるのでしよう。ご指摘について肝に銘じたい

と思います。

今後の舵取り役となる私としては、ビジョンを定め、そのための戦略、戦術を執行部で共有できる体制を作っていきます。そこに現実の課題やテーマを流し込みながら、硬直化した考え方でなく、しなやかに対応していきたいと考えています。とくにこのような不測の事態の中で、今後まだまだ経験したことのない問題、前例がないような課題も出てくる可能性があります。執行部で方向性を共有し、諸先輩方にも意見をいただきながら組合の存在価値向上に向けて、この2年間、組合運営にあたっていきたいと思います。

木原 白田様、作道様におかれましては、この4年間、本当にお疲れさまでした。一組合員として「大きな変化」を感じた4年間でした。また、浦久保様におかれましては、新体制のもとで「価値ある組合」を目指して運営に尽力していただければと思います。期待しております。本日はありがとうございました。(取材/印刷時報)

セミナー案内チラシ

この原稿をご覧ください。頃は、どんな状況になっているのか？

新型コロナウイルスで、世界中の経済活動がスローダウンしている。たくさんの方々が延期、中止になっている。3月4日、大印工組主催の太閤園で開催予定だったダイバーシティ&インクルージョン入門セミナー、翌日東京で予定されていた最後のダイバーシティ推進委員会も中止になった。活動の締めがこのような形で終わることになってしまったが、それでも得られたものがたくさんあった2年間。ダイバーシティ推進委員会で行った事業については、本誌で何度か報告させていただいた。ここでは、委員会活動そのものがどんなだったか？について紹介したいと思う。(本文中にWeb

pdf.P.00)とあるのは、後述する全印工連Web報告集の該当ページを参照ください。

まずダイバーシティ推進委員会は、全日本印刷工業組合連合会(全印工連)の通常委員会の他に設けられている専門委員会のひとつであった。

私個人の組合との関わりは、なにか支部に所属し、支部の新年会などの会合や知っておきたい内容のセミナーに参加する程度。徐々に顔見知りが増えるものの女性は少数派。そんなことにも慣れてはいるが、案内される各種イベントなど以外にどんなことをされているのか？今一つ理解できていなかったように思う。そんななか、事務局の方に「ダイバーシティ推進委員会」に参加してもらえませんか？とお声掛けをいただいた。年

3〜4回東京で行われるらしい委員会である。と作道理事長から伺い、頼まれたこともあるし、それぐらいならいけるかなとお引き受けすることにしました。

委員長は、東京の(株)プライズコミュニケーション 小野綾子。メンバーは、仙台/本田印刷(株) 本田直子、山形/北星印刷(株) 岩間奏子、東京/(株)セブンクリエイト 武智美樹、(株)清水清水 朋子、セントラル印刷(株) 河野里美、今井印刷(株) 今井孝治、神奈川/(株)連合社印刷 古木直人、名古屋/(株)近藤印刷 近藤起久子、大阪/鈴木美術印刷(株) 鈴木裕香、宮崎/(株)文昌堂 東淑恵、事務局/小松英雄の12名。(役職敬称略)

いつもと男女比逆転！男性3名は、居心地が悪かろう？と逆に心配したが、飄々と慣れたもので、姦しく、あちこちに広がる話をうまくまとめたり、違った視点での発言に感心させられることもしばしばあった。前身の女性活躍推進委員会から、ダイバーシティ推進委員会に移

行われて3年目にあたる。メンバーの入れ替えが多少あったようだが、新参加者は早く馴染まなくてはといつもより積極的な心構えで、共通点を探したりしながら、仲間に入れていただいた。同業で社業を引き継いでいるという似たような立場のよしみか、以前からの知り合いかと錯覚するぐらいすぐに打ち解けることができた。それまでのダイバーシティ推進委員会の活動では、ダイバーシティ経営100選に選ばれた会社6社を訪問したようだ。業種問わず、各社各様のダイバーシティ経営の取り組みをされている経営者の話を聞いて、理解を深められている。(Web.pdf P.117-122)

また、東京開催のセミナーでは『LGBTを考える』というテーマで、LGBTである方の講演とディスカッションが行われた。(Web.pdf P.123)

さらに、推進メンバーが自社の「一般事業主行動計画」を作成して実践、組合専属の小倉恵理社労士から講評やアドバイスをもらうという取り組みも行っている。(Web.pdf P.90-111)

一般事業主行動計画作成について



宮崎での会議

たセミナー「今からはじめるダイバーシティマネジメント」では、小倉社労士による、働き方改革法案解説の後、委員会メンバーの体験談を座談会形式で行うという企画で、長

は「Web.pdf P.121-126を参照のこと。はじめの2年間の活動は『働き方改革―多様な人財活用を目指して』の冊子にまとめられている。(Web.pdf P.90-123)

私が参加することになった3年目からは、小野委員長長の提案で、事業テーマを3つのチーム制にして取り組むことになった。これが、委員会自体の結束を高める要因になったと思う。事業テーマは、

①ダイバーシティについての理解、浸透度を測るために行われる第2回目のアンケートの設問づくりと集計結果の分析を神奈川・仙台・山形メンバーが担当(東北チーム)

②ダイバーシティ経営を実践している会社見学会の実施を名古屋・大阪・宮崎メンバーが担当(西日本チーム)

③主に東京で行われるダイバーシティに関する研修の実施を東京地区メンバーが担当(東京チーム)

委員会は2〜3か月に1度行われる。会える回数は限られるので次回までの間、チームメンバーでメールやLINEの連絡や確認を行い、委員会の場では、進捗の報告、各テーマを煮詰めるための意見出しや討議を行う。

野県への会社見学の後、ファシリテーターを務める今井委員と登壇メンバーは観光もそこに現地で座談会に向けて話す内容を詰めるなど、しっかり準備を行ったこともあり、



長野での会議

会議の後は、東京チームの清水委員が、メンバーのリクエストに応じたり、探してくださったバラエティに富んだ食事処にて、会費制で懇親を深める場も用意してくださった。

時には、同日開催される関東甲信越地区の協議会に参加し、普段お目にかかる機会のない地域の方々々と交流する機会もあった。

翌日仕事を控えている人が多く、新幹線に間にあうよう、東京駅に向かうタクシーの中でも寸暇を惜しんで情報交換が行われていた。

各チームの活動は次のとおり

①昨年行われたダイバーシティについての浸透度、実践度を測り、どんな課題があるのかを引き出すための2回目のアンケートを準備するにあ



松山での懇親会

たいへん充実した座談会となった。(Web.pdf P.81-84)

その他、ダイバーシティ経営100選に選定された仙台(株)ユーメディア様での働き方改革への取り組みを紹介する講演会も行われた。東京開催のセミナーへも、同日に委員会を開催するなどくださり、参加させていただくことができた。(Web Web.pdf P.193-194)

最終年は、ダイバーシティ(多様性)に加えてインクルージョン(包括する)という考え方が加わり、次のテーマに取り組んだ。

○ダイバーシティ&インクルージョンについてのセミナーを宮崎で行う(西日本チーム)

○男女共同参画事業との合同セミナーの実施(東京チーム)

たつては、分析イメージを想定したうえで設問内容を何度も練ったものを用意して配布、できるだけ多くの回答を得られるよう期間を延長し、提出促進の声かけをしていただき、得られた結果や分析も数字が並んだだけでなく、グラフ等でわかりやすさに配慮した充実した内容で報告された。(Web.pdf P.75-80)1回目の結果はWeb.pdf P.71-74)

②会社見学会準備では、訪問先の選定、打診、日程等を決める。訪問先は、首都圏以外の地方が望ましいとの指定があり、できれば同業者がよいと考え、技能五輪国際大会に女性オペレーターが複数名出場されている、長野県長野市の亜細亜印刷(株)様、シニア熟練工を含め年齢層のバランスがよく活躍されているということで、近隣の(株)渋谷文泉閣様を。さらにダイバーシティ経営100選に選ばれた、愛媛県松山市の佐川印刷(株)様への訪問も実現できた。(Web.pdf P.189-192)

地方の組合員の方に組合活動を知っていただくため、訪問先でも委員会を開催し、参加していただき情報交換する場も設けられた。

③東京チームが準備して開催され

○ダイバーシティ推進委員会活動の成果物を残す。(東北チーム)

宮崎でダイバーシティ&インクルージョンに関するセミナーを行うというテーマをいただいた西日本チームは、講師を前年の見学先でもあった佐川印刷(株)佐川正純社長にお願いして、取り組み内容についてご講演いただいた。宮崎県工組のご協力により、九州地区各地のみならず、沖縄からも宮崎に集まっていた。大変盛況で、有意義な内容となった。(Web.pdf P.195-198)

東京チームの武智・河野・今井・清水委員は、国の男女共同参画団体別スバイラルアップ事業とのハードな打ち合わせを重ね、合同企画で、池内ひろ美氏による「女性活躍推進セミナー」(Web.pdf P.177)の他、神奈川(株)横浜リテラ様と埼玉(株)木元省美堂様、両印刷会社への見学バスツアーも実施され、参加させていただいた。(Web.pdf P.199-200)

アンケートを完了した東北チームのテーマ、ダイバーシティ推進委員会活動の成果物を残すというものは、今まで発行されたダイバーシティ関連の記事や情報をひとつにまとめることになった。



おまけ
東委員に案内してもらった宮崎の鶴戸神宮。昔、大阪商人が出資しこの地で和紙を生産、大阪で販売して成功し納めた紙開発石燈籠がある。運玉は見事亀石の甲羅の穴に入ったが、願い事を忘れたので皆さんの幸運を祈ることにして、この報告を結ぶことにする。
(ダイバーシティ推進委員会／鈴木美術印刷(株)鈴木裕香)



宮崎での懇親会

ダイバーシティ推進委員会活動報告集(PDF)は、全印工連のウェブ上に公開されています。ぜひご覧ください。



全印工連ダイバーシティ活動報告でも検索できます。



新着情報ページの2020年3月27日の記事をクリック



ここから報告書をダウンロード

全印工連の『日本の印刷』に連載された記事の他、東京、名古屋、大阪で独自に発行されている広報誌や報告書から関連するものはすべて網羅している。当初、紙の冊子にする計画だったが、予算の関係と、だれもが閲覧できるようにするためにWeb冊子になった。ダイバーシティ多様性という多岐にわたる内容を見やすくするため、テーマ別に分類してアイコン表示している。準備にあたっては、担当する東北チーム本田・岩間両委員とリーダーの神奈川 古木委員は、Web会議システムで打ち合わせを重ねて、大変素晴らしいものにまとめ上げられた。全印工連ホームページから閲覧できるので、ぜひご覧いただきたい。委員会メンバーの活動とおとしての感想も掲載されている。(Web pdf P.3-15)

(全印工連 2020.3.27掲載ダイバーシティ推進委員会活動報告集) <http://www.ai-pia.or.jp/diversity/diversityreport2020.pdf>

こうして、ダイバーシティ推進委員会は活動を終えることとなった。事務局の小松さんが、常に痒いところに手が届くようなフォローをしてくださり、スムーズに進めることができた。

このような終わり方が、かえってこの絆がこれからも続くという感じで悪くはない。現に、新型コロナウイルス騒動も全国での発生状況が異なる頃からどんな対策している？ ロックダウンになったらどうなるの？ 万が一の時は、応援お願いできる？ この時期、自社でできることはなんだろう？ こんなアイデア商品考えてみた！ それ使っていない？ といった情報交換を行うことができ、非常に心強い共に戦う同志ようになっていく。

ダイバーシティ推進委員会活動は一旦完了となったが、今年度は、CSR委員会の一部会として継承される



花束贈呈

最終の委員会は中止となってしまい、ご挨拶ができなかったため清水委員の声掛けで、近藤委員が手配して、メンバーから委員長へ小野さんらしいカラーの花束が贈られた。

私ที่ได้られた、日本各地の同業の経営者、後継者仲間との絆を必要な方にも得ていただけたように思うことがテーマかなと思いつつ新型コロナウイルスによる自粛が、一日でも早く解けることを願っている。

印刷組合の活動は、所属支部、地域だけでなく、全国の組合員との交流の機会がいくつかある。地域の特長、会社ごとの特色、経営者のカラーもさまざまである。けれどもそれぞれ、いい会社をしたい、地域で役立つ存在でありたい、必要とされる産業であり続けたいという願いは同じ。悩みや迷いも同じようなことが多い。情報共有したり、交流したりするのはなかなか難しいこともあるが、機会があれば積極的に関わってみることをお勧めする。

ことなるようだ。引き続き参加メンバーに加えていただくことになった。大阪主催で開催予定だったダイバーシティ&インクルージョンセミナーは宮崎でのセミナー同様、素晴らしい内容にするべく、パネルディスカッションのために事前の打ち合わせもしていたが叶わず、山本新委員長率いるCSR委員会に引き継がれることになりそうだ。

全印工連 CSR認定 ワンスターチェックリスト

ワンスター 新規	会社名: フリガナ 担当者名:	会社住所: 担当者アドレス:	地区協: 社員数:
-------------	-----------------------	-------------------	--------------

【CSR取組み項目チェックリスト】2017年版
 * 右肩に小さな赤いしるしがあるセルにカーソルを乗せると、重要なコメントが表示されます。
 * 薄黄色の「有効性評価項目」は、2017年度から新設・変更された項目です。

CSR項目	有効性評価項目	提出資料の例	1スター認定 必須	取組み ポイント数	申請項目 のポイント 数を入力	P合計	注意事項
1 コンプライアンス	(1.1) 法令遵守	法令遵守宣誓書(所定様式の原本使用)	必須	1			
	(1.2) 納税している(税金の未納がない)。	納税証明書(3の3、3の2)		1			
	(1.3) 過去3年以内に法規制などにより行政処分を受けた実績がない。	宣誓書(所定様式の原本使用)		1			
	(1.4) 2次利用を含め自社の知的財産権などの権利を守る取組みをしている。	協定や規程など(該当部分にマーカー)		1			
	(1.5) 2次利用を含め他事業体の知的財産権などの権利を侵害しない取組みをしている。	協定や規程など(該当部分にマーカー)		3	1		
	(1.6) 法務に関する窓口がある。						
	(1.7) セクハラ・パワハラを生まない環境づくりに取り組む。						
	(1.8) 【その他注目すべき取組み】	1.8.1 1.8.2					

CSR項目	有効性評価項目
1 コンプライアンス	(1.1) 法令遵守
	(1.2) 納税している(税金の未納がない)。
	(1.3) 過去3年以内に法規制などにより行政処分を受けた実績がない。
	(1.4) 2次利用を含め自社の知的財産権などの権利を守る取組みをしている。
	(1.5) 2次利用を含め他事業体の知的財産権などの権利を侵害しない取組みをしている。
	(1.6) 法務に関する窓口がある。
	(1.7) セクハラ・パワハラを生まない環境づくりに取り組んでいる。
	(1.8) 【その他注目すべき取組み】
	2.11.1 2.11.2 2.11.3 2.11.4
	1.8.1 1.8.2

こんな時代だからこそ
自社の意味を考える

大印工組 CSR委員会

全印工連CSR認定(ワンスター認定更新)をして思ったこと

このたび、大印工組でCSR委員会の委員長を拝命し、どのような活動をしていこうか、どんなメンバーで活動していこうか模索している中で、この騒動(新型コロナウイルス感染症拡大)に突入してしまいました。経済が停滞するところまで仕事に影響することを目的の当たりした中で、経営者の方々は迷走していると思います。

全印工連でCSR認定制度があることを皆様にご存知だと思います。弊社では平成28年6月にワンスターの認定を取得しました。きっかけは全青協や大青協での事業活動の中でCSRを学んだことがきっかけです。日々仕事をこな



各部署にポスターとしての啓発活動

していく中で、社員のモチベーションって何だろうか？自分たちの仕事って何なのか？社員にしっかりと説明できていないと感じることもあった中のチャレンジでした。CSR認定は2年に一度更新申請が必要です。令和2年6月に2回目の更新にあたり、私自身がCSRに関して再確認しました。

CSR単に企業の社会貢献ばかりではなく、これからのCSRは【企業が社会の課題解決に取り組むことで、結果として企業そのものが成長することだ】と思います。せっかく加入している大印工組。利用できることは使おうべきだと思います。

私はCSR認定に取り組む目的を次のようにうたっています。

《CSRに取り組む目的は、すべてのステークホルダーからより一層信頼される企業になることはもちろんのこと、特に従業員のモチベーションUPを目的としています。CSRワンスター企業として、自社に誇りをもって家族をはじめ社外の人たちに社員全員が自身の会社(仕事)について話ができるようになったらと思っています。これから安心して働ける環境の重要性が大事ではないかと。時代にあった変化に柔軟に対応

できる会社にならねばと思います。当たり前のことでも当たり前にできる会社にならなければいけない。と明記しております。今まさにその時期かと思えます。弊社でも今回の更新で4年前の自社と比べて社員の意識の違いを感じています。やらされてる仲間から、やってみようと思える集団に随分変わってきた手ごたえを感じています。経営者の不安はもちろんです、社員の皆さんも不安です。こんな時期だからこそ、企業として何ができるのか？地域貢献とは何なのか？今、何を世の中は求めているのか？

全印工連のHPからCSR認定のチェック項目を確認することができます。コンプライアンス、環境、情報セキュリティ、品質、雇用・労働安全、財務・業績、社会貢献・地域志向、情報開示・コミュニケーションの8項目に分類されます。足りない箇所は補えばいいですし、クリアできていれば自信になると思います。こんな時期だからこそこの時間を大切に自分たちでできることを無理のない範囲でチャレンジしてみたいかがでしょうか？

(大印工組CSR委員会 委員長 山本素子)

INFORMATION

大印工組レポート

令和2年度 第1回定例理事会 開催報告

令和2年度第1回定例理事会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、書面議決での理事会が4月22日(水)午後4時より都島区の大阪印刷会館で定例理事数45名中7名が出席(書面出席38名)して開かれた。

定刻に至り司会者事務局平塚課長が開会を宣し、本日の理事会は法定数を満たしており、成立する旨が告げられ、作道理事長が開会挨拶の後、議長となり議事を進行した。

第1号議案・組合員加入並びにパートナーシップ会員承認および脱退報告の件、第2号議案・次期理事長推薦候補者承認の件、第3号議案・令和元年度決算承認の件、第4号議案・令和2年度実施事業(案)承認の件、第5号議案・令和2年度予算(案)承認の件、第6号議案・定款一部変更承認の件、第7号議案・委員会規約一部変更の件、第8号議案・令和2年/3年度理事、監事選任の件、第9号議案・令和2年度通常総代会開催日承認の件および通常総代会提出議案承認の件について事務局より説明し、各議案について異議なく承認された。

以上で理事会すべての事項が終了したので、午後4時50分に議長は閉会を宣した。

(報告/大印工組事務局)

失敗を恐れず、何事も前向きに!!

なんば機械株式会社 取締役 難波秀道(天親支部)

令和元年9月に大阪府印刷工業組合に加入させていただきました。なんと、なんば機械(株)難波秀道です(プリオNo.728下段に写っております笑)。

最初に加入の経緯を書きます。私は以前流通業界で働いており、去年弊社に入社しました。まったくの異業種にいたため、印刷業界や印刷に関する知識はゼロに等しく、また顔見知りの方がいるわけでもありませんでした。その時に弊社社長 難波鷹夫と古くから付き合いのある大阪女神インキ(株)の岡地常務から「顔を広げるには組合に入ったら?」



代表取締役社長 難波鷹夫



取締役 難波秀道



とのアドバイスを受けたことがきっかけで加入させていただきました。去年9月の組合員例会に始まり、各種セミナー、天親支部新年会と参加し、右も左も分からない私に組合員の皆様は優しく丁寧に接してくださいました。特に天親支部の(株)日進社 家田社長、(株)新聞印刷 福山社長、北親支部の(株)エヌユー・ケイ 吉田社長、パートナー会員の富士フィルム グローバルグラフィックシステムズ(株) 千葉課長、この場をお借りして感謝申し上げます。

天親支部新年会で(株)一心社 浦久保社長がこう述べられていた。「外が曇っているのか、ただ単に窓が曇っているだけなのか、中に居ては分からない。」「つまり、じっとしては外の本当の状況は分からないし、行動しながら解決策を見出す事だと思えます。」

次に弊社の紹介をします。現社長 難波鷹夫が昭和51年に設立し、主にオフセット印刷機・印刷関連機械の修理・買取・販売をしています(ホームページでも仕事紹介しています)。

皆様もご存知のとおり新聞・出版業界の構造不況、広告メディアのデジタル化等により印刷業界の市場規模は1997年をピークに減少傾向にあります。弊社も取引先会社様の世代交代による疎遠や廃業、先述の理由による機械メーカー様の内製化への移行等、外部的・内部的要因により決して樂觀

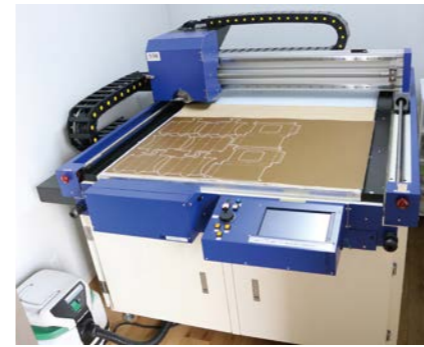
■企業データ
社名：なんば機械株式会社
所在地：〒537-0023
大阪市東成区玉津1-4-22
関済協ビル4F
電話06-6977-5551
FAX06-6977-5552
資本金：1,000万円
代表者：代表取締役社長 難波鷹夫
http://www.namba-kikai.co.jp/

トムソン加工の未来を見据え 自動化の設備導入と人材確保の強化を実践

株式会社栄紙工所 代表取締役 高田秀隆(南親支部)



代表取締役 高田秀隆



CAD面板システム

株式会社栄紙工所の高田と申します。弊社では品質の厳しい化粧品パッケージのトムソン加工を中心にも他にも化粧品容器などの加工をさせていただいております。

皆様ご存知のとおりトムソン加工は木型を用いて印刷物を打ち抜く工程です。ですが、セット(面切り)といつてトムソンの心臓と言われている溝を切る作業、それを終えて機械にかけて通し終わると、次は金槌を用いて仕上げ作業が完了します。



マルチプランキング

私はこのままでは、この仕事を次世代に繋ぐことはまず不可能だと考え、そこで工程を見直し、手間・時間・労力がかかるものを割り出し、その結果、面切り作業と仕上げ作業を自動化にしました。思い立ったら即行動の性格に歯止めがきかず1年で2台を導入しましたので、台所事情は非常に厳しいですが…笑。

大変重労働です。特に、面切り5年、落丁3年とよく言われました。私は計8年も続くやつなんかおらへんでと内心思っていました。

時は流れ働き方改革や人材不足、下請けには特に人材が集まらないと言う現状が続ぎ、たまたに入社した者も仕上げを覚えかけたときに辞めるなど、そういう繰り返しでした。



存在感がすごいんです

それでも、面切りに関しては職人仕事だったので今まではパートさんがその業務を担っております。落丁に関しては入社して半年足らずの者が、従来の3人分を1人でこなします。費用対効果で言いますと、確かに倍の売り上げにはなりません、無駄な残業を減らし従業員に人並みに休みも与えることができるようになりました。

このようなことを弊社だけで行うのではなく、同業者の方達にも積極的に情報提供しております。そうすることにより、同じ志を持った仲間が改善に取り組み、次世代に私たちの仕事を繋げる架け橋になることができるのであれば喜んでご協力させていただきます。

■企業データ
社名：株式会社栄紙工所
所在地：〒546-0001
大阪市東住吉区今林2丁目28番25号
電話/FAX06-6751-4006
代表者：代表取締役 高田秀隆
E-mail:sakaetakada@jcom.zaq.ne.jp

私の個人の自己紹介を少しさせていただきます。幼少期から野球に明け暮れ、高校では尽誠学園に野球留学し鬼の上下関係に圧倒されましたが、何とか要領の良さで乗り切り大学でも野球を続け、振り返ると野球一筋の人生です。そんな私のモットーは「約束は必ず守る」。これだけは徹底しております。お客様との仕事の約束は覆すにでもまっとうします。そんな私は子供達に、子供達が大きくなるまで会社をしっかりと継続させるという約束をしました。当たり前のようですが、なかなか厳しい時代ですので、この約束もしっかり守れるよう精進して参ります。

組合員の皆様、新参者ですが今後ともよろしくお願い申し上げます。

D.D.S.S.セミナー 「ストーリーの組み立て方」

講師：人材開発コンサルタント 山崎 紅氏



D.D.S.S.(デジタル・ドキュメント・サービス研究会)は、「ストーリーの組み立て方」を通る企画書・提案書はこう作る！」をテーマに、人材開発コンサルタント山崎紅氏にご講演いただいた。

山崎氏は、富士ゼロックス株式会社にて全社改革プロジェクトリーダーとして、コミュニケーション改革、働き方改革に従事したのち、人材面から企業改革を進める人材開発コンサルタントとして

活動。官公庁、民間企業、大学、教育機関など幅広く指導。日経ビジネススクールでの講演多数。成蹊大学非常勤講師。主な著書は「情報活用プレゼンテーション」求められる人材になるための社会人基礎力講座(第2版)「企業が生まれ変わるための働き方改革実践ガイド」小学生からはじめる伝える力がつく本「小学生からはじめる考える力が身につく本」などがある。

企画や提案で相手を動かすためには、相手にどうしてわかりやすく、納得感が高いストーリーを組み立てることが必要である。そのためには以下の5つのポイントを押さえるべきである。

1. 何のための企画・提案なのか？
- 「目的」「ゴール」「伝えたいこと」を洗い出し、重要なポイントを絞り、明確にする。
2. 今、私は何を期待されているの

か？聞き手のニーズや課題を理解するために、聞き手を取り巻く環境や、聞き手の思考／行動の軸になるものを知り、聞き手の求めていることを予測する。

3. 最低限必要なことは何か？骨子をシンプルに作ることである。全体の流れは、「序論」「本論」「結論」とし、特に「序論」「本論」はどのようなものなのか、「コンセプト(概念／目的)」「実現イメージ(仕組みや状態)」「予想効果(提案によって得られる効果)」「Why」なぜ必要なのか、「背景(現状分析／将来予測)」「How」どうやって実現するのか、「手段(具体的実行方法)」「投資／コスト(必要なヒト／モノ／カネ)」「スケジュール(必要な時間とスケジュール)を明確に伝えるべきである。
4. どうやって相手を惹きつけるか？アピールするためには、訴求力の高い資料が必要になる。「正確／簡潔／わかりやすい文書」「整理されたデザイン／レイアウト」「識別を助けて印象をアップさ

せる色合い」ポイントを強調するビジュアル化(チャート化／マルチメディア化)に注意すべきである。

5. どうやって納得を得るか？使用するデータの裏付けをするためには、客観的で信ぴょう性の高い根拠「具体的に正確なデータ」「出所が信頼できるデータ」を示す必要がある。「具体的に正確なデータ」とは、固有名詞／数値／金額／日時などが可能な限り明記され、間違いなく正確であると推測できるものであり、「出所が信頼できるデータ」とは、「信頼できる組織(官公庁／企業／各種団体)」で作成され、適切な方法で収集／分析されたと推測できるものである。

セミナーの最後に、悪い提案例を見ながら改善ポイントを考えるケーススタディを実施した。このセミナーをどのように役立てたのかとのアンケートに対しては、以下の回答があった。「説明や提案時には、目的とゴールを明確にしてお客様へ対応していきたい」「メンバーの育成。提案書の書き方の指導に役立てたい」「報告書や日報、社内活動の発表など日常の資料作成や、企画提案力の向上に役立てたい」。

(報告/D.D.S.S.事務局)

レンダリングIntent

(公社)日本印刷技術協会(JAGAT) 郡司 秀明

「プロファイル変換」とは、プロファイルに準じた色空間から別プロファイルの色空間へ変換することである。CMYK変換がこれに当たるが、より正確に「RGB to CMYK変換」と言うこともある。Photoshop用語の対比語として「プロファイル指定」があるが、これは画像ファイルのデータはそのままにしてプロファイルだけ付け替えることを言う。従って、カラーマネジメントの効いたシステムで見たら色は変化するわけで、Adobe RGBのプロファイルをsRGBに付け替えたら「彩度」が下がることになる。対して「プロファイル変換」は、プロファイルを付け替えても色が変化しないようにする。プロファイルが異なるのに、カラーマネジメントして色が同じように見えるということ。つまり、データを書き換えていることになる。一言で表現すれば「プロファイル変換」は色が変わらず、「プロファイル指定」はデータが変わらない。しかし、再現色域の大きさが異なる場合、小さな色域から大きな色域に変換する場合は問題ないが、大きな色域から小さな色域に変換する場合は、再現色域外の色があるからいろいろ工夫することになる。それをレンダリングIntentと言う。

レンダリングIntentは、カラーマネジメントシステムで、カラー空間間のカラー変換をどのように処理するかを設定する。レンダリングIntentによって、変換元の色の調整方法を決定するルールが異なる。例えば「色が変換先の色域内に収まらない狭い色域に変換する」ときは、元の視覚的なカラー関係を維持するために色が調整される。レンダリングIntentを選択した結果は、ドキュメントのグラフィックの内容やカラー空間の

指定に使用しているプロファイルによって異なる。

レンダリングIntentとして、Adobeが普通使用しているのが「知覚的」「彩度優先」「相対的色域維持」「絶対的色域維持」の4種類である。図1のようなRGB画像をCMYK変換する場合には、日本では普通「知覚的(図2)」がレンダリングIntentとして使用される。欧米では「相対的色域維持(図3)」が標準で使われている。色がなるべく正確に再現されるようになっており、色域外の色は最短の色域内の色に変換されるようになっている。日本のPhotoshopでもモニターに関しては相対的がデフォルトになっている。「絶対的(図4)」は、基本的に相対的と同じで、異なるのはグレイが変換されない。「彩度優先(図5)」は、色の正確さよりも彩度が高くなるようなレンダリングIntentで、CGやコミックなどの場合、これを選択すべきか？という点、知覚的の方が問題は少ないと言える。色調再現や色差という点では、彩度優先はグラフや図版に使うものと、割り切った方がよいだろう。

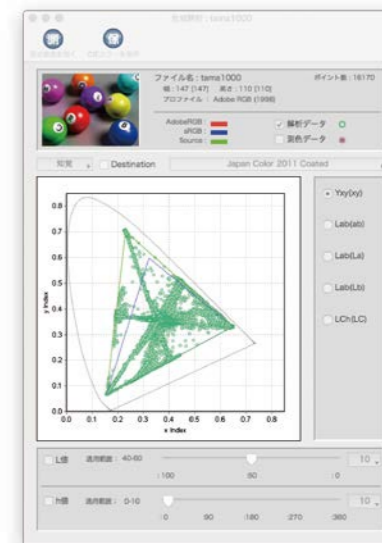


図1: Adobe RGB

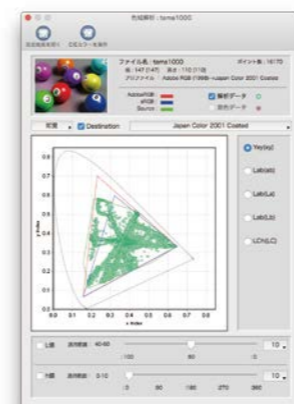


図2: 知覚的

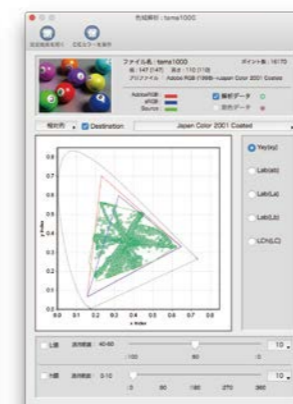


図3: 相対的色域維持

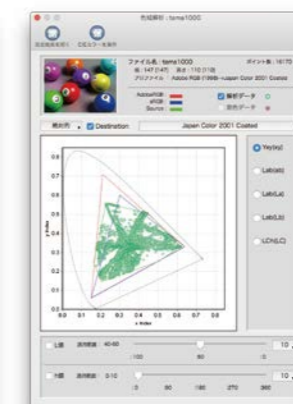


図4: 絶対的色域維持

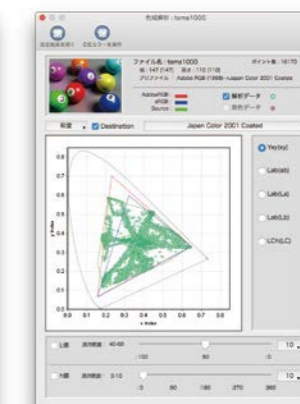


図5: 彩度優先



林祐一郎
(株)林印刷
南親支部

このたび、大青協の副議長を拝命いたしました林祐一郎と申します。
これまで4年間、大青協に参加し色々な経験をさせていただきましたが、これから2年間は主体的に行動し白石新議長を支えていきたいと思っております。
大青協は、印刷業に関わる若手経営者や次世代経営者経営幹部が集う団体です。各支部の二世会選出

の議員を中心として、印刷業の将来について真剣に議論し新たな印刷業界を作り上げていくことを目的とさせていただきます。少しでも興味のある方はぜひ参加してみてください。お待ちしております。



西岡天芳
新星印刷(株)
北親支部

このたび、大青協の副議長を拝命いたしました、新星印刷株式会社の西岡天芳(にしおかたかよし)と申します。
令和2年度、新型コロナウイルスが猛威を振るっており、緊急事態宣言の発令や、GW期間中の皆様の自粛努力、医療従事者の方々の懸命のご尽力もあり、少しは治まってきたように見えますが、やはりまだまだ余談を許さない、また、明確な出口も見えないような、心休まらない状況が続いております。

そんななか、私事ではございますが、4月に第2子が誕生いたしました。昨今の暗い話題が多い大変な状況下ではありますが、我が家にもたらされた小さな希望の光だと感じております。
そんな小さな希望の光を胸に、大青協では新議長、白石体制のもと、メンバーとともに大きなチャンスを開き出し、努力していきたいと思っております。
今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



清水善幸
(有)ディーティーピーセンター
福島支部

このたび、大青協の副議長を拝命いたしました、有限会社ディーティーピーセンターの清水善幸(しみずよしゆき)と申します。
私は印刷業界に入り5年ほどになります。弊社は製版業で現社長が独立独立で経営をしてきたことから業界内に相談ができる方も少なかったのですが、私が入社後すぐに大阪福島印刷工業組合に加入し、同時に二世会の緑青会にも加入し、さまざまな相談をできる

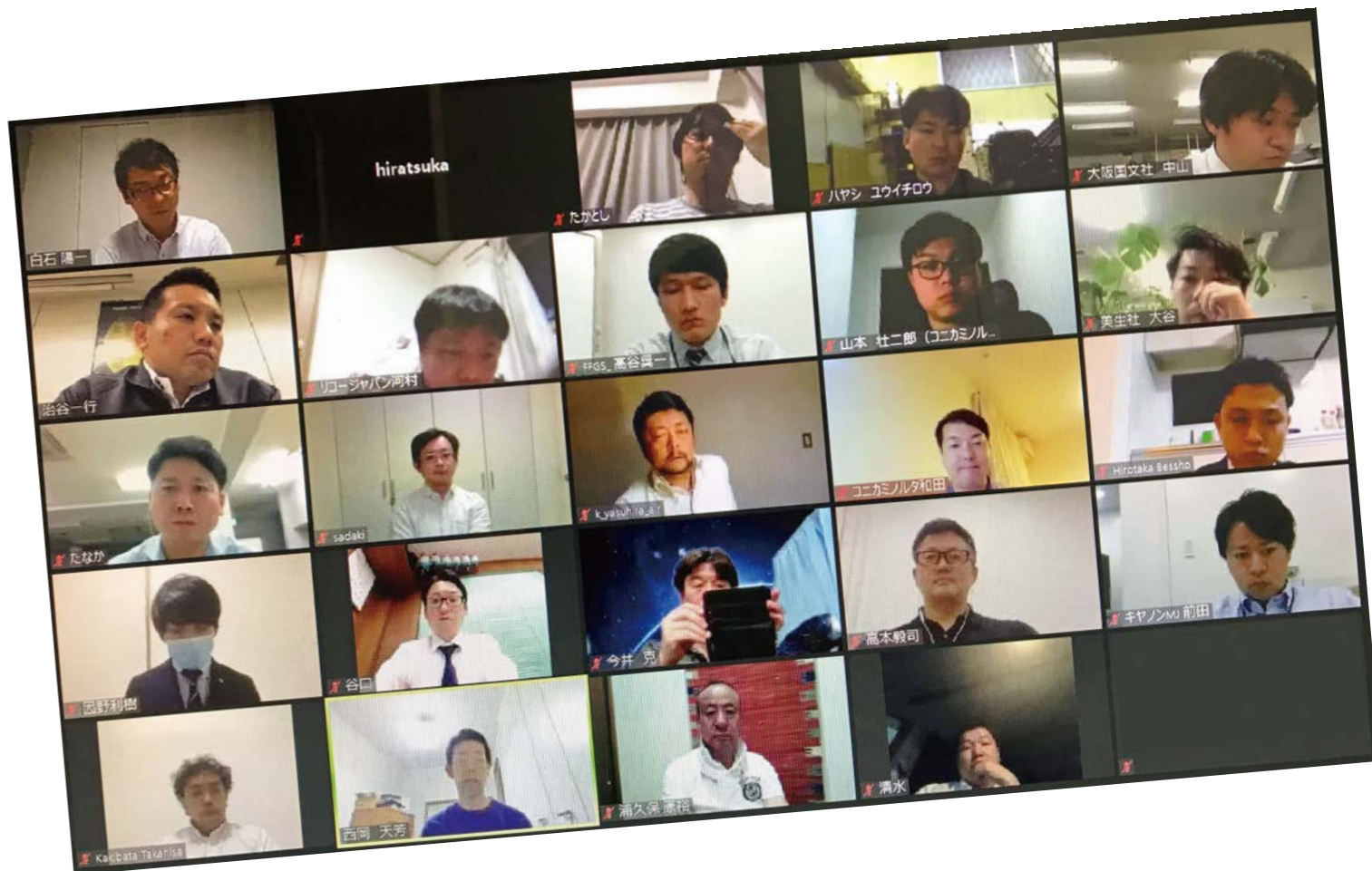
仲間が増えました。
大青協に参加するようになり3年目になりますが、各支部のさまざまな業種の方と話をする機会がさらに増え非常に良い経験刺激となっております。
現在、新型コロナウイルスの影響で定例会も開けない状況になっておりますが、白石議長のもとで2年間力を発揮できるよう鋭意努力いたしますので、よろしくお願いたします。



谷口和宏
谷口印刷紙業(株)
福島支部

このたび、大青協の副議長を拝命することになりました、谷口印刷紙業(株)の谷口和宏と申します。
私は入社して10年ほどになりますが、これまで組合の活動にはあまり参加しておらず、福島支部の二世会(緑青会)に入ったことがきっかけで、昨年、大青協議員になったばかりです。副議長を務めるには経験不足ではないかとも思いましたが、この1年間いろいろな活動に参加させていただき、会議や遊び、行事の運営を

通して、自社で仕事をしているだけでは得ることのできない楽しさと自身の成長を感じることができました。
白石議長を助け、若手の経営者や次期経営者の皆さんに「参加したい」と思っていただけのような魅力ある大青協にしていけたらと思います。精一杯努めさせていただきますので、何卒よろしくお願いたします。



◆5月定例会

開催日時/5月12日(火) 18時30分
場 所/リモート会議
参加人数/24名

新型コロナウイルスの影響により、先月定例会を行うことができなかったため、5月12日(火)、約2カ月ぶりに大阪青年印刷人協議会(大青協)定例会が開催されました。

新型コロナウイルスの影響で自粛期間が継続されていたため、今回はZOOMを利用したリモート会議にて行われました。

リモート会議に初参加といった議員もおり、18時30分頃から議員がWEB会議室に入室はじまりましたが、カメラの写り具合や

7月定例会は7月7日(火) 18:30
大青協見学希望の方は
大印工組・平塚まで
(06-6633-1306)

(報告者 中山哲男)
(文中の役職は開催当日時点での表記としております。)

久しぶりに大青協議員と再会したのがパソコンのモニター越しで、味気ないものになるかと最初は想像しましたが、みんなの元気そうな顔を見ると私も元気な気持ちになりました。会社や家にいる状態で多少のものがしさなどはありましたが、ちゃんとした会議が行われたことは凄いいことだと感じました。

しかし、2時間近い会議を終えた後、会議でパソコンを長時間眺めていたため目が異常に疲れ、早く新型コロナウイルスが終息しみんなと直接顔を合わせて定例会を行える日がくることを切に願いました。

協議事項では、大青協議員の「1.会社名、名前」「2.どのような仕事をしているか」「3.新型コロナウイルスの影響」「4.現在困っていること、相談したいこと」を順番に発表していき、みんなの現在の状況や悩みなどを共有し対応策などを話し合いました。

途中より浦久保副理事長にも参加いただき、大青協議員に対し激励の言葉をいただきました。最後に安平常務理事より講評をいただき、大青協5月度定例会の幕を閉じました。

音声が届いていないなど、少々のトラブルがあり、みんなで解決しているうちに定刻の19時を迎え、大青協5月度定例会を閉会しました。まず初めに新議長に就任された白石議長より挨拶が行われ、その後、今期から参加される新しい議員から自己紹介が行われました。

好きこそモノの
上手なれ

趣味人日記
第八十一弾

ゴルフってやっぱりめっちゃ楽しい!!

池下印刷 池下徳史(東支部)

こんにちは!!

もともとゴルフはしてなかったのですが、息子の高校野球が終わった瞬間ぽかんと穴があいたような状態で、何か趣味を見つけないといけないと常日頃感じていた最中、友人が「ゴルフやったらええやん!」といきなり本コースに誘ってくれ一緒にプレーしたら非常に楽しくて、それからは結構ハマってます(笑)。

枚方国際ゴルフ倶楽部にて同窓生コンペ



前半戦後の反省会という名のプチ宴会

特に中学生時代の同級生とのゴルフは非常に楽しくて、当時のニックネームで呼び合い懐かしく感じて、また私以外みんな異業種の仕事をしていてその各業種の動向とか景気の話題になってはちょっとした異業種交流会になり、色々な業種の情報があり勉強にもなります。

だいたい1ヶ月に最低でも1回は同級生ゴルフコンペを開催していますが上達は...。まあ、とにかくゴルフはスコアじゃなく楽しんでやるのがいちばんだと思います!(笑)(笑)

加茂カントリークラブにて



PRI・O 7.ルメレポート



桜鯛とひっさげのお刺身



真鯛スパイス焼のサラダ仕立て



揚げ餅とトロロのあんかけ



海老と4種のお煮しめ



海老もちのトムヤムスープ仕立て



芝海老と三ツ葉のかき揚げ

「まず一杯」南森町のイイお店

春は大川沿いの桜・夏は大阪天満宮の天神祭で賑わう、北区・南森町には、お酒を飲むこと・食べることには目がない店主がいるお店がある。飲むことだけでなく集めることも大好きで、カウンターの前に並ぶ、和・洋問わずありとあらゆる銘柄たち。日本各地・世界中から集めた珍品・名品に出逢うこともあるかも...。もちろん、お酒に合う一品も、国産品にこだわった食材で、定番メニューから、季節ごとに変わる旬菜など、シェフが懇切丁寧に仕上げた料理で、どんどん空になるグラス、そして毎日変わる手書きのメニューに注視し、新たな一品をさらに注文...。こうして、あっという間に時間が過ぎていきます。木目を基調とした店内で、カウンターだけでなく、くつろげるソファルームや大人数対応のスペースもあり、

歓送迎会ははじめ、各種パーティーもOKです。初めてでもお一人様でも、誰でも温かく迎えてくれるお店で、「まず一杯」。ぜひ一度、覗いてみてください。



酒・家庭料理 先杯(せんぱい)
営業時間/18:00~24:00(L.O 23:00)
定休日/日曜日・祝日(祝日についてはお問い合わせください)
TEL.06-7504-7814
〒530-0043 大阪市北区天満3-6-10 沼田ビル1F
投稿者:大河内 秀起
株式会社 株式会社日垂商会(北支部)

思い描く色に応え続けます。



覗いてみませんか？

工場の中

FACTORY ▶

工場案内の動画はこちら



70th
お客様とともに70年



大阪府品質管理推進認定企業

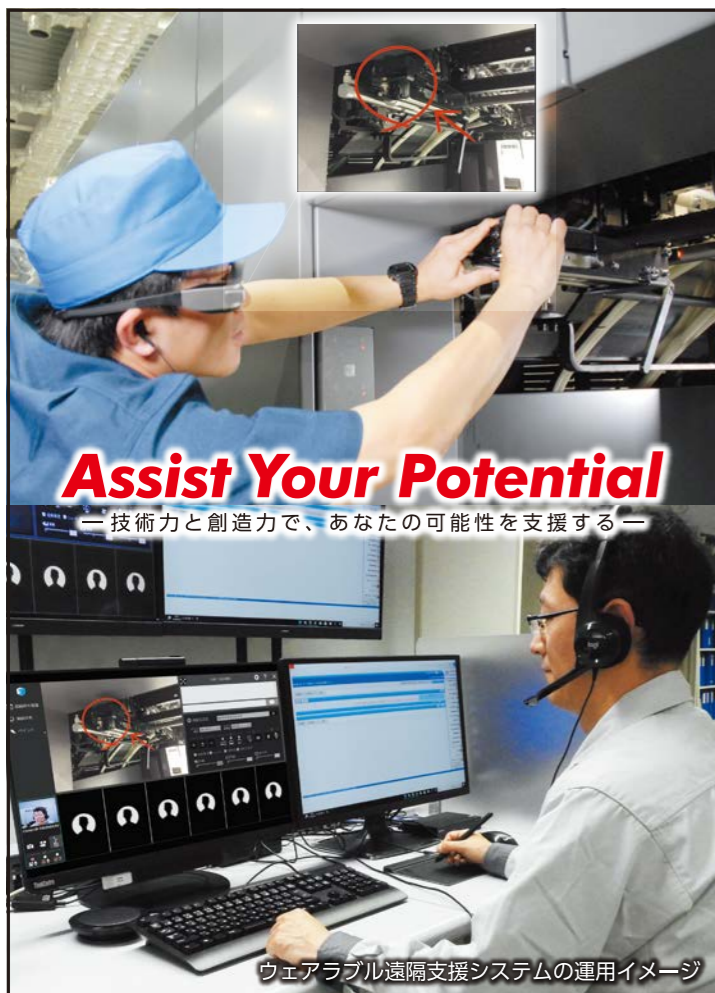
富士精版印刷株式会社



本社 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目4番33号
東京支店 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3丁目12番10号 神田竹尾ビル2階
市島工場 〒669-4342 兵庫県丹波市市島町矢代字才上377番1号

TEL.06-6394-1181(代)
TEL.03-3518-8188
TEL.0795-85-1488

<https://www.fujiseihan.co.jp>



Assist Your Potential

— 技術力と創造力で、あなたの可能性を支援する —

ウェアラブル遠隔支援システムの運用イメージ

印刷会社

RMGT
サービス
コントロール
センター



同じ画面を共有して問題解決

原因を早期特定

対策を早期実施

日ごとに厳しさを増す短納期ニーズに応える、印刷の現場。ウェアラブル遠隔支援システムは、スマートグラス*を通して、印刷機のトラブル箇所をRMGTサービスコントロールセンターから目視して、すばやく対処します。印刷機のダウンタイムを短縮し、トラブルに直面したオペレーターの不安を軽減します。RMGTは、技術力と創造力で人を助け、印刷会社それぞれが強みを発揮できるように、アシストしていきます。

*スマートグラスとは、カメラとディスプレイを搭載してインターネットに繋がったメガネ型のウェアラブルコンピュータ。

RMGT リョービ MHI グラフィックテクノロジー株式会社

西日本支社 〒569-1135 大阪府高槻市今城町24-12
TEL 072-685-1171 <http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

古墳探訪3 ~もうひとつの百舌鳥古墳群~

中原産業株式会社 中原秀記(東和支部)

好きこそモノの
上手なれ
趣味人日記

第八十二弾

堺の百舌鳥には仁徳天皇陵に比定される大仙古墳をはじめ、その子となる履中・反正の陵墓など世界遺産にふさわしい大古墳群がある。

百舌鳥という地名は仁徳天皇が陵墓を築く際、突然走ってきた鹿が倒れその耳の中からモズが飛び出したことからこの地を毛受(百舌鳥)耳原と呼ぶようになったとされる。



「鼻摺古墳石碑」耳原公園近隣の住宅街にあり、耳原方形墳とも呼ばれている



「鼻摺古墳」1辺約33mの方墳で、地元では反正天皇陵との伝承がある



「耳原古墳」径約23mの円墳。帝人旧大阪研究センター内にあり履中天皇陵との伝承がある

ところが同時代に毛受耳原と呼ばれていた地域が他にもあり、そこには仁徳・履中・反正の陵墓までであるという。茨木市耳原にある鼻摺・耳原・耳原西の3古墳がそれにあたる。

鼻摺古墳(伝反正陵)は耳原公園横にありこの地域では珍しい方墳となる。耳原古墳(伝履中陵)は帝人の敷地内にあり現在は近づくことができない。

最大であったとされる耳原西古墳(伝仁徳陵)は現存していないが、その石室が移築保存されている。

これらの古墳はその規模からも天皇陵とは考え難いが、発掘調査により5世紀に築かれた古墳を6世紀末に作り直したことが判明し、かなりの特殊性を感じる。

堺の陵墓はその規模から考えても被葬者の存命中には到底完成できなかったであろう。履中・反正の両天皇は即位後早くに崩御しており、実際の完成は弟の允恭天皇の代だと考えられる。ならば、これらの古墳は堺の陵墓を完成させるまでの仮の陵墓なのではと思いを巡らせてしまう。

古来この近辺は西国街道が通る交通の要衝で、談山神社改葬前の藤原鎌足公の墳墓や謎の天皇とされる継体天皇陵などもあり、よりいっそうこの地域の特殊性を伺い知ることができる。



「耳原西古墳」3基の中で最大の前方後円墳とされ仁徳天皇陵との伝承がある。現存していないが石室の一部が鼻摺古墳近くに移築保存されている



「大織冠神社」西安威の將軍山にある藤原鎌足公の神霊を祀る神社。この長い石段の上に古廟がある



「藤原鎌足墳墓」將軍山1号墳と呼ばれる円墳で藤原鎌足の墳墓との伝承がある。鎌足の隠居した別荘がこの三島地域にあったとされている

INFORMATION

【新入会員】

(株)シオザワ関西支社(東和支部)塩澤有紀 関西支社社長
〒577-0006 東大阪市楠根3-5-34
TEL:06-6745-4030 FAX:06-6745-4040

(有)滝井特殊印刷(東大阪支部)滝井大輝 代表取締役
〒579-8026 東大阪市弥生町18-14
TEL:072-984-0587 FAX:072-982-2580

(有)山野加工(東大阪支部)山野桂祐 代表取締役
〒578-0914 東大阪市箕輪3-5-7
TEL:072-929-8608 FAX:072-929-8624

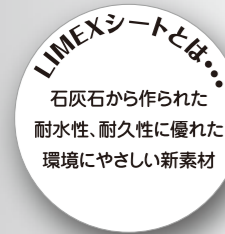
【代表者変更】

(株)栄紙工所(南親支部)新社長に高田秀隆氏が就任。

【社名変更】

栄紙工所(南親支部)→(株)栄紙工所に社名変更
(株)ビコーシステム(北親支部)→(株)美巧工房に社名変更

ライメックス LIMEX シートの取り扱い開始!!



SDGs・減プラに対応

名刺、ポスター、ラベル、タグ、メニュー
地図、POP、クリアファイル
電飾フィルム、横断幕、折箱などに最適

レジ袋、ショッパー、ごみ袋も受注生産
にて対応可能

KAMIX 高井田支店：〒577-0066 大阪府東大阪市高井田本通 6-2-10
TEL：06-6785-1036 / FAX：06-6785-1039

「顧客第一主義」を实践。



大同印刷株式会社

本社工場 大阪市鶴見区鶴見4-6-4 Tel 06-6934-2121
東京支店 東京都台東区上野3-13-9 Tel 03-3832-5702
深江工場 大阪市東成区深江南1-5-24 Tel 06-6981-6981

DAIDO PRINTING
http://www.daidoprinting.com

お待たせしました！プリントビズの抗菌印刷商品第二弾！

抗菌エコLIMEX
クリアファイル

カルテケースに
最適！



カルテなんかを入れるとめっちゃ衛生的やん！
これなら、病院側も患者様側も安心やわ！！
しかも環境に配慮も出来るなんて完璧！

プリントビズのクリアファイルは、強い抗菌作用がある抗菌ニスを使用した「抗菌印刷」と、水なし印刷とLIMEX用紙を使用した「環境印刷」の二面性をあわせ持ったクリアファイルです！
書類をクリアファイルに入れて、毎日様々な方の手を渡り歩くなど、菌の繁殖が気になる場合に大活躍します！プリントビズの「抗菌エコLIMEXクリアファイル」、好評販売中！

抗菌印刷 抗菌性のあるニスを紙面に印刷することにより、
抗菌の層ができ、抗菌効果のある印刷物を
作成することができる印刷のことです。

水なし印刷 水を使用しない方式のため、有害な廃液を
出さないエコロジーな印刷方式です。

LIMEX (ライメックス) 石灰石を主成分とするエコロジーとエコノミーを両立する
革新的新素材であり、木と水をほぼ使用することがない、
紙やプラスチックに変わる新素材です。



【ずっと安心。ぐっと満足。】
PrintBiz プリントビズ
Powered by 北東工業株式会社
0120-132-768



石川 忠

石川 ただし

【俳句】
古き街古き城あり緑濃し
原生林ブナの若葉に小雨かな
子育ての燕出入りや無人駅
桜桃忌近し生家は古りにけり
若楓大幸生家の庭に揺れ

heart 人から人へ心を伝えるハート紙製品

- ・グリーン購入法適合封筒
- ・環境配慮型製品
- ・名刺・封筒
- ・はがき・カード
- ・賞状・カレンダー
- ・ワックスプラス・季節商品

デザイン作成・企画提案から印刷・納品までトータルにサポート
官公庁・企業様、ユーザー様など幅広くご利用いただいております

ハート株式会社 URL: www.heart-group.co.jp

企画から美術印刷まで
お客様のニーズに応える...
化粧品、医薬品メーカーとタイアップして
デザインからパッケージまで
高級美術印刷を一括受注製造
個性のある付加価値の高い製品創りを
行っています

●化粧品、医薬品などのパッケージ・ラベル・能書・説明書・ディスプレイ・カレンダー・
ポスター・カタログ・チラシ・パンフレット・リーフレット・その他美術印刷

時代の感性を包む
岡本印刷株式会社

本社・工場 〒582-0027 大阪府柏原市円明町1000-29 TEL072(976)0861 FAX072(977)7079
営業統括本部 〒582-0027 大阪府柏原市円明町1000-29 TEL072(978)1160 FAX072(976)3735
東京営業所 〒105-0013 東京都港区浜松町2-12-9 倉田ビル2F TEL03(5733)2577 FAX03(5733)2578

わたしたちは大阪観光を応援しています！
大阪観光局公式キャラクター
大阪観光サポーター
Osaka Bob

総合印刷会社 株式会社 高速オフセット
〒530-0001 大阪市北区梅田3丁目4番5号(毎日新聞ビル6階)
TEL(06)6346-2800 / FAX(06)6346-8848
URL https://www.kousoku-offset.co.jp

ぜひともご利用ください！
無料！各種相談のご案内
大阪印刷会館にて開催 予約制

お申し込み・お問い合わせ TEL.06-6353-3035
大印工組事務局 info@osaka-pia.or.jp

◎労務相談 (10:00~12:00、13:00~16:00)
50分/1人、先着5名/各開催日、申込締切:開催日の1週間前

◎税務・法律相談 (13:00~17:00)
60分/1人、先着4名/各開催日、申込締切:開催日の2日前





労務相談
労務顧問の中尾文彦先生にご相談ください。
6/19(金)、7/3(金)、7/17(金)
【ストレスチェックについて】【残業時間】【就業規則】等

税務相談
税務顧問の森田昌宏先生にご相談ください。
7/10(金)、8/7(金)、9/11(金)
【消費税】【税金】等

法律相談
法律顧問の河端直先生にご相談ください。
6/24(水)、7/29(水)、8/19(水)
【版権】【著作権】【M&A】等

著名営業案内

(順不同)

岩岡印刷(株) 住之江区中加賀屋4-2-10 TEL.6685-5221 FAX.6685-5634	 NIKKO 日広株式会社 八尾市若林町2丁目127番地 TEL:072-948-1151(代)	昌和印刷(株) 平野区瓜破南2-4-138 TEL.6707-1051 FAX.6790-4072	株式会社サンセイ 〒550-0015 大阪市西区南堀江1-1-14 四ツ橋中基ビル6階 TEL(06)6532-8811 www.sansei-int.co.jp 
寿印刷(株) 西淀川区歌島1-4-4 TEL.6471-3434 FAX.6472-9840	青葉印刷(株) 都島区中野町2-10-11 TEL.6351-5428 FAX.6351-5299	富士精版印刷(株) 淀川区西宮原2-4-33 TEL.6394-1181 FAX.6394-1199	(株)ケーエスアイ 西成区南津守7-15-16 TEL.6652-8000 FAX.6652-8894
白石封筒工業(株) 東大阪市高井田中4-1-22 TEL.6789-0018 FAX.6789-0028	キハラ工芸(株) 中央区内淡路町2-1-10 TEL.6943-7955 FAX.6943-7958	ウエノ(株) 淀川区西中島7-4-17 TEL.6301-1555 FAX.6301-1557	(株)一心社 天王寺区大道1-14-15 TEL.6771-1121 FAX.6772-6970
サン美術印刷(株) 東成区東今里2-15-30 TEL.6976-0231 FAX.6978-2807	(株)美生社 西成区出城1-7-4 TEL.6647-8555 FAX.6647-3176	カキモト化工(株) 門真市月出町9-10 TEL.6901-3821 FAX.6905-9248	レスター工業(株) 中央区糸屋町2-3-2 TEL.6941-8572 FAX.6941-0781
大興印刷(株) 大阪市中央区常盤町1-2-13 TEL.4794-0086 FAX.4794-0087 神戸ポートアイランド工場 神戸市中央区港島南町4-6-3 TEL.078-303-3660 FAX.078-303-3669	(株)フリーテック 天王寺区寺田町1-3-8 TEL.6772-3300 FAX.6772-6424	大阪印刷工業(株) 八尾市若林町2-114 TEL.072-949-3777 FAX.072-949-6843	松本印刷(株) 中央区上町1-15-36 TEL.6762-9151 FAX.6762-7292
(株)NPCコーポレーション 北区天満1-9-19 TEL.6351-7271 FAX.6352-7479			

こだわりをカタチにする印刷会社

パッケージ印刷・UVオフセット印刷・商業印刷






安定品質を目指して
印刷濃度管理システムを導入!!

www.sakudo.co.jp

作道印刷株式会社 TEL.072-963-6339
 〒578-0921 大阪府東大阪市水走1-12-20 FAX.072-963-4013

木とともに未来を拓く

木とともに未来を拓く総合バイオマス企業として、
これまでにない新たな価値を創造し続け、真に豊かな暮らしと
文化の発展に貢献します。





日本製紙株式会社

東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ 〒101-0062 TEL.03-6665-1111
 www.nipponpapergroup.com

SCREEN

Digital Everywhere!

デジタル印刷で世界が変わる。SCREENが変わる。
SCREENは、本年も印刷業界の発展を全力で支援してまいります。



株式会社 SCREEN GP ジャパン 大阪支店/06(6531)0333
 〒550-0011 大阪市西区阿波座二丁目1-1 大阪本町西第一ビルディング5階

食品包装紙のお悩みも即解決! 特許出願済み

におわなインキ®

インキ臭を抑えた印刷です



印刷インキと資材の都インキ株式会社
都インキ株式会社

www.miyakoink.co.jp

【本社・工場】 〒538-0044 大阪市鶴見区放出東1-7-13 TEL.06-6961-0101 FAX.06-6961-0303
 【東京支店】 〒135-0048 東京都江東区門前仲町1-2-4 TEL.03-3641-5501 FAX.03-3641-5966

KOMORI

KOMORIは日本唯一の 銀行券印刷機メーカーです。

私たちKOMORIグループは、1923年の創業以来、社会文化を支える印刷機械づくりにまい進してきました。
 主要事業であるオフセット印刷機に加えて、デジタル印刷機事業、PE・精密機器事業、国内をはじめ、世界三十カ国以上に銀行券印刷機を納入している証券印刷機事業、印刷資材販売などに取り組んでおります。右の絵柄は、KOMORI特有の証印技術によるインキが盛り上がる肖像の超細密画線です。
 卓越した偽造防止技術を誇る日本の銀行券は、KOMORIの印刷機で刷られており、海外の銀行券と比較しても偽造の頻度が圧倒的に低いと言われています。

MADE IN JAPAN WITH STATE-OF-THE-ART TECHNOLOGY

KOMORI CORPORATION
 www.komori.com

株式会社 小森コーポレーション
 本社 〒130-8666 東京都墨田区吾妻橋3-11-1 TEL.03-5608-7806
 大阪支社 〒536-0016 大阪市城東区蒲生2-11-3 TEL.06-6939-3051



「仕事」を可視化する。「働き方」を改革する。
「ICT時代」を勝ち抜くために。

「生き残る」よりも「勝ち残る」。未来へ向けてICT時代を「勝ち抜いていく」。そのためにいま必要なのは抜本的な「働き方改革」であり、それを実現する最も有効なソリューションの一つが「ワークフロー変革」です。すべてを、XMFにお任せください。徹底した「工程の自動化・高速化」、「仕事の見える化」によって、XMFが労働生産性を高め、クライアントの信頼性を高め、印刷会社の企業経営に揺るぎない革新をもたらします。

【XMFによる「働き方改革」の5大効果】

- IT を駆使し、つねに「早く正確な経営判断」を下せるようになる
- 工程全体の生産性だけでなく一人あたりの生産性がアップする
- 小ロット・多品種・短納期の仕事でも安定した利益が得られる
- クライアントに、印刷会社ならではの視点で幅広い提案が行なえる
- 持続的な成長を目指し、積極的に新たな取り組みに挑戦できる

あなたの会社を、もっと自由に。もっと強く。

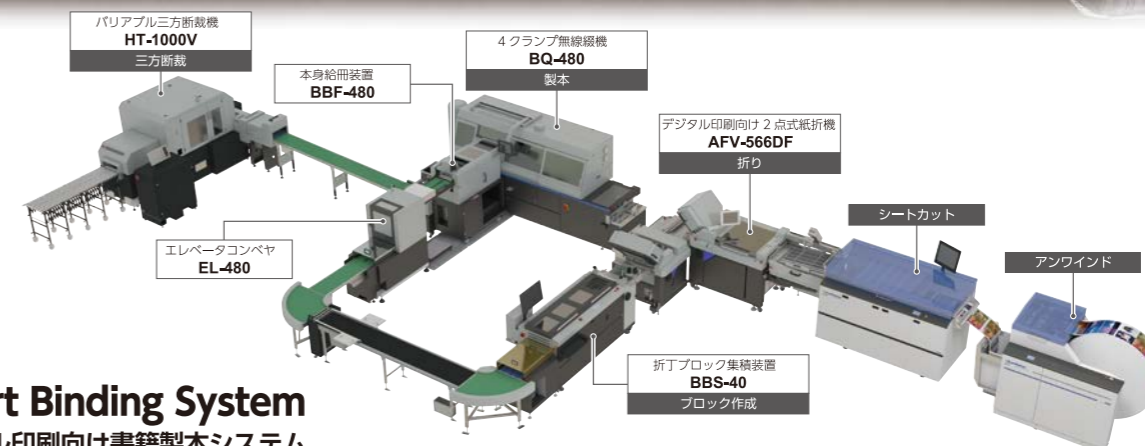


富士フイルム グローバル グラフィック システムズ株式会社

本社 〒106-0031 東京都港区西麻布二丁目26番地30号 富士フイルム西麻布ビル 03(6419)0300 [ホームページ http://ffgs.fujifilm.co.jp](http://ffgs.fujifilm.co.jp)

Horizon
Change the focus

「理屈」で考えるワークフロー、
ポストプレスにフォーカスしてみませんか



Smart Binding System
デジタル印刷向け書籍製本システム

ホリゾン・ジャパン株式会社 www.horizon.co.jp

本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀岡ビル5F TEL.03(3863)5361(代) FAX.03(3863)5360
東京支社 〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9 TEL.03(3652)7631(代) FAX.03(3652)8083
京都支社 〒601-8206 京都市南区久世大藪町510 TEL.075(933)3060(代) FAX.075(933)4025
福岡営業所 〒813-0034 福岡市東区多の津4-12-17 TEL.092(626)8111(代) FAX.092(626)8112



表現力は、想像力を超えて。

オンデマンドで、メタリックの世界へ。

業界初*、1パス6色プリントエンジンが、魅力的で訴求力に優れたメタリックカラーを、オンデマンドでスピーディーに実現します。ゴールド、シルバー、ホワイト、クリアーの特殊トナーから最大2色を選択し、CMYKトナーを組み合わせることで、多彩な印刷表現を実現。プリントビジネスの可能性をより鮮やかに広げます。
*乾式電子写真方式。2017年10月現在。

イリデッセ プロダクション プレス
Iridesse™ Production Press



写真はオプション装着時

富士ゼロックス株式会社 www.fujixerox.co.jp/ Xerox, Xerox ロゴ、および Fuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。
富士ゼロックス大阪株式会社 www.fujixerox.co.jp/osx/ 〒541-0042 大阪府中央区今橋2-5-8 TEL 06-6205-3001



RICOH Pro C7210s/C7200s

- 全5色のスペシャルカラー印刷に対応
- 最大360g/m²の厚紙印刷対応
- 330.2×1260mm長尺印刷対応
- レザックや封筒など様々な用紙への対応力UP
- ノーカーボンN40の印刷に対応

ビジネスを変革する表現力

Value Special Color

RICOH
imagine. change.



リコージャパン株式会社 新規事業本部 PP事業部 西日本CP営業部 関西1グループ 〒541-0056 大阪府中央区久太郎1-6-29 TEL:050-3534-0191

「属性で括る」と、オンデマンド印刷は効率化する

出力業務効率化ソリューション

RICOH Total Flow BatchBuilder

RICOH Total Flow BatchBuilder は、大量に入ってくる多品種・少量のジョブを「使用する用紙」「後工程の種類」などの属性によって括り自動で実行。プリントオンデマンド印刷の業務効率を向上させます。

